

【9L1L201】外国語コミュニケーションⅠ		教養科目		1年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	小椋 博文					
資格・制限等	幼教は卒業必修・歯科は選択必修					
授業内容	英語は実技科目です。実際に聞くことで聞く力が身に付き、読むことで読む能力が身に付き、書くことで書く力が身に付き、話すことで話す力が身に付きます。皆さんにとって興味深い題材を通じて、英語の発信力に繋がる基礎力の習得を目指します。					
実務家教員						
授業方法	テキストの意味理解は、ゴールではなく出発点です。意味理解したテキストを暗唱できるまで何度も音読しましょう。授業では4技能のバランスの取れた活動を心掛けます。					
到達目標	知識・理解	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどに関する基礎的・基本的事項を理解している。			◎	
	思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な問題について、簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝えたりすることができる。			○	
	技能	聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。			○	
	関心・意欲・態度	英語を用いたコミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。			△	
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	30	20	-	-	50
	小テスト	20	-	20	-	40
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	50	20	20	10	100
評価の特記事項	前の授業の理解度を小テストで評価します。受講態度は授業中の活動への取組状況などから総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(筆記試験)の受験資格はありません。					
ICT活用						
課題に対するフィードバック	小テストは採点し、次回以降の授業で返却します。					
テキスト	『AMBITIONS Beginner 4技能統合型で学ぶ英語コース：初級編』VELC VELC研究会教材開発グループ 静哲人 望月正道 熊澤孝昭(2,090円)ISBN:978-4-7647-4119-5					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	Cross-Cultural Understanding Listening Focus: 強く発音される語を聞き取る Reading Focus: 文の主語を見つける [課題(復習)] A Noisy Neighborの音読及び学習した内容の復習(2h)					
2	Foods Listening Focus: 似た音に注意する(1)LとR Reading Focus: 文の動詞を見つける [課題(復習)] Why Coffee Is Good for Youの音読及び学習した内容の復習(2h)					
3	Foreign Language Learning Listening Focus: 似た音に注意する(2)2種類の「ア」 Reading Focus: 動詞の目的語を見つける [課題(復習)] Benefits of Studying with Musicの音読及び学習した内容の復習(2h)					
4	Sports Listening Focus: 似た音に注意する(3)子音の直後に来るLとR Reading Focus: 補語を見つける [課題(復習)] The Origin of Soccerの音読及び学習した内容の復習(2h)					
5	Fashion Listening Focus: 弱い助動詞を聞き取る Reading Focus: 何の代わりにかを見抜く(代名詞) [課題(復習)] Strict Japanese School Rulesの音読及び学習した内容の復習(2h)					
6	Living Things Listening Focus: イントネーションに注意して聞く Reading Focus: 不定詞を理解する [課題(復習)] Puppy Mills vs. Sheltersの音読及び学習した内容の復習(2h)					
7	Art Listening Focus: 似た音に注意する(4)BとV Reading Focus: 動名詞を理解する [課題(復習)] Graffiti Artの音読及び学習した内容の復習(2h)					
8	Global Issues Listening Focus: 弱い前置詞を聞き取る Reading Focus: 受動態を理解する [課題(復習)] Data Privacyの音読及び学習した内容の復習(2h)					
9	Japanese Culture Listening Focus: 消えるdを聞き取る Reading Focus: 比較を理解する [課題(復習)] Akiko's Study Abroad Blogの音読及び学習した内容の復習(2h)					
10	Human Rights Listening Focus: 消えるtを聞き取る Reading Focus: 後置修飾を見抜く [課題(復習)] Parental Leaveの音読及び学習した内容の復習(2h)					
11	Health & Medical Issues Listening Focus: 似た音に注意する(5)THとS Reading Focus: 関係代名詞を見抜く [課題(復習)] Therapy Animalsの音読及び学習した内容の復習(2h)					
12	Environmental Issues Listening Focus: tで繋がる語句を聞き取る Reading Focus: andが繋ぐものを見抜く(並列1) [課題(復習)] Save the Beesの音読及び学習した内容の復習(2h)					
13	Economy & Industry Listening Focus: nで繋がる語句を聞き取る Reading Focus: butやorが繋ぐものを見抜く(並列2) [課題(復習)] YouTubers and Ad Revenueの音読及び学習した内容の復習(2h)					
14	Legal Issues Listening Focus: 話し手の気持ちを聞き取る Reading Focus: 文脈に合った意味を選ぶ(多義語) [課題(復習)] Japan's Strict Bicycle Lawsの音読及び学習した内容の復習(2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
15	Science & Technology Listening Focus:対比による強調を理解する Reading Focus:知らない単語の意味を推測する [課題(復習)] Smartphone Addiction の音読及び学習した内容の復習(2h)
時間外での学修	英語の学習で最も大切なのは復習です。意味理解したテキストを暗唱できるまで何度も音読しましょう。学んだ内容の定着度を確認するため次の授業で小テストを実施します。【この科目で求める望ましい時間外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	英語の学習について相談したい人は、オフィスアワーとして授業終了後にA304(A号館3F)で受け付けます。それ以外の時間でも気軽に訪ねてきてください。

【9L1L202】外国語コミュニケーションⅡ		教養科目		1年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	小椋 博文					
資格・制限等	幼教は卒業必修・歯科は選択必修					
授業内容	英語は実技科目です。実際に聞くことで聞く力が身に付き、読むことで読む能力が身に付き、書くことで書く力が身に付き、話すことで話す力が身に付きます。外国語コミュニケーションⅠより少し発展的な題材を扱いながら、英語の発信力の向上を目指します。					
実務家教員						
授業方法	テキストの意味理解は、ゴールではなく出発点です。意味理解したテキストを暗唱できるまで何度も音読しましょう。授業では4技能のバランスの取れた活動を心掛けます。					
到達目標	知識・理解	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどに関する基礎的・基本的事項を理解している。			◎	
	思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝えたりすることができる。			○	
	技能	聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。			○	
	関心・意欲・態度	英語を用いたコミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、主体的に活動に取り組むことができる。			△	
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	30	20	-	-	50
	小テスト	20	-	20	-	40
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	50	20	20	10	100
評価の特記事項	前の授業の理解度を小テストで評価します。受講態度は授業中の活動への取組状況などから総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(筆記試験)の受験資格はありません。					
ICT活用						
課題に対するフィードバック	小テストは採点し、次回以降の授業で返却します。					
テキスト	『AMBITIONS Elementary 4技能統合型で学ぶ英語コース：初級編』VELC研究会教材開発グループ 静哲人 望月正道 熊澤孝昭 金星堂(2,090円)ISBN:978-4-7647-4054-9					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	Cross-Cultural Understanding Listening Focus: 強く発音される語を聞き取る Reading Focus: 文の主語を見つける [課題(予習)] Cleaning Abroad の音読及び学習した内容の復習(2h)					
2	Foods Listening Focus: 語順のまま理解する Reading Focus: 文の動詞を見つける [課題(復習)] Instant Washoku の音読及び学習した内容の復習(2h)					
3	Foreign Language Learning Listening Focus: 消えるtとdを聞き取る Reading Focus: 動詞の目的語を見つける [課題(復習)] Natsuko's Blog の音読及び学習した内容の復習(2h)					
4	Sports Listening Focus: 似た音に注意して聞き取る Reading Focus: 補語を見つける [課題(復習)] Olympic Swimmer Karen Stevenson's Blog の音読及び学習した内容の復習(2h)					
5	Fashion Listening Focus: nで繋がる語句を聞き取る Reading Focus: 何の代わりかを見抜く(代名詞) [課題(復習)] Steve's Famous Look の音読及び学習した内容の復習(2h)					
6	Living Things Listening Focus: 弱いcanを聞き取る Reading Focus: 不定詞を理解する [課題(復習)] Nature's Water Bottle の音読及び学習した内容の復習(2h)					
7	Art Listening Focus: 話の展開を予測する Reading Focus: 動名詞を理解する [課題(復習)] Local Tech Firm to Put Winslow Museum of Fine Art Online の音読及び学習した内容の復習(2h)					
8	Global Issues Listening Focus: 強弱のリズムに慣れる Reading Focus: 受動態を理解する [課題(復習)] A House without a Toilet の音読及び学習した内容の復習(2h)					
9	Japanese Culture Listening Focus: tで繋がる語句を聞き取る Reading Focus: 同等比較・比較級・最上級を理解する [課題(復習)] The Ninja: Fact vs. Mythの音読及び学習した内容の復習(2h)					
10	Human Rights Listening Focus: lで繋がる語句を聞き取る Reading Focus: 後置修飾を見抜く [課題(復習)] Stop Child Labor! の音読及び学習した内容の復習(2h)					
11	Health & Medical Issues Listening Focus: 弱いofを聞き取る Reading Focus: 関係代名詞を見抜く [課題(復習)] Going Strong at 104! の音読及び学習した内容の復習(2h)					
12	Environmental Issues Listening Focus: 対比による強調を理解する Reading Focus: andが繋ぐものを見抜く(並列1) [課題(復習)] Noise Pollution の音読及び学習した内容の復習(2h)					
13	Economy & Industry Listening Focus: rで繋がる語句を聞き取る Reading Focus: butやorが繋ぐものを見抜く(並列2) [課題(復習)] Wasting and Saving food の音読及び学習した内容の復習(2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
14	Legal Issues Listening Focus: 飲み込まれるtnを聞き取る Reading Focus: 文脈に合った意味を選ぶ (多義語) [課題 (復習) Bye Bye Japan Dance Ban の音読及び学習した内容の復習 (2h)]
15	Science & Technology Listening Focus: 弱いforを聞き取る Reading Focus: 知らない単語の意味を推測する [課題 (復習) ] Article Series: Drones-Our New Eye in the Skyの音読及び学習した内容の復習 (2h)
時間外での学修	英語の学習で最も大切なのは復習です。意味理解したテキストを暗唱できるまで何度も音読しましょう。学んだ内容の定着度を確認するため次の授業で小テストを実施します。【この科目で求める望ましい時間外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	英語の学習について相談したい人は、オフィスアワーとして授業終了後にA304 (A号館3F) で受け付けます。それ以外の時間でも気軽に訪ねてきてください。

【9L1L103】国語表現		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	鈴木 孝育						
資格・制限等	歯科は選択必修						
授業内容	社会人基礎力として、コミュニケーション能力の養成が声高く求められている現代において、正しいことばの使い方を身につけ、自分の考えを的確に相手に伝えたり、相手の考えや感情を把握したりすることは、社会人・職業人として肝要なことです。そこで、この授業では文章表現における用字・用語の習得から表現技術を磨き、まずは基礎としての書き言葉を学んだ上で、社会生活で必要となる口頭表現を身につける学修を行います。様々な文章の書き方を学ぶとともに、自己紹介の情報を集め、自己PRが表現できるよう、就職試験にも直結する実践的な表現力を養成します。						
実務家教員	高等学校国語科教員 33年						
授業方法	講義と問題演習を合わせた形式の授業を次の流れで展開します。内容によっては、発表や、ミニ討議を行います。また、各回に質疑応答の時間を設定し、問題点を解決していきます。 1. 教科書に基づいたパワーポイントによる講義（文章作成の基礎知識の修得） 2. 教科書巻末問題演習等の課題（実践的鍛錬） 3. Googleフォームによる小テストの実施（確認・復習テスト）						
到達目標	知識・理解	国語の語彙と用法についての知識・理解を深めることで、社会変化に伴う多様な人間関係を生き抜くための豊かな表現力を身につける。			◎		
	思考・判断・表現	社会生活における確かな国語力を身につけ、課題や問題点を的確に捉え、思考を深めるとともに、自己を俯瞰して見ることで客観的な自己理解をすることができる。			◎		
	技能	社会人・職業人に必要な実用的な文章、並びに専門科目で求められる論理的な文章を理解する基礎知識を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	思考と表現及びコミュニケーションの最も大切な基盤は国語力であると理解し、興味と関心をもって主体的に取り組むことができる。			△		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	30	-	-	60
	確認・復習テスト		10	-	10	-	20
	提出物・受講態度		-	-	10	10	20
	合計(点)		40	30	20	10	100
評価の特記事項	試験（筆記試験・確認テスト）は、授業内及び定期試験期間に行います。受講態度は、学修への取り組み状況、課題の提出状況等から総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験（筆記試験）の受験資格はありません。						
ICT活用	各授業後の確認テストを、Googleフォームを活用して実施します。						
課題に対するフィードバック	各授業後の確認テストは、Googleフォームにて実施し、自己採点時にフィードバックできるよう解説をします。また、各授業前に実施する課題プリントは、毎回授業時に集め、個々の取り組みや成果と学びを確認し、質問にはコメントを返します。						
テキスト	『すぐに役立つ国語表現 第3版』国語表現法研究会 編 学術図書出版社(1,925円) ISBN:978-4-87361-752-7						
参考書・教材	必要に応じて授業中に指示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業の内容と方法についての説明と、コミュニケーションツールとしてのことばの機能に関する概説 [課題（準備・復習）]シラバスを熟読してくる。図書館などでことばの機能に関する文献を読み、理解を深める（配布プリント）。Googleフォームによる確認テスト①(4h)						
2	文章表現の基礎知識①ー用字についての理解①（ローマ字・仮名）【仮名遣い・送り仮名】 [課題（復習・定着）]学修内容を復習し、仮名遣いについての正しい知識を演習を通じて確実に身につける（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト②(4h)						
3	文章表現の基礎知識②ー用字についての理解②（漢字）【難読語・同音異義語・同訓異義語・類義語・相似形】 [課題（復習・発展）]学修内容を復習し、演習を通じて漢字の知識を増やす（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト③(5h)						
4	文章表現の基礎知識③ー用語についての理解①（反対語・対照語・四字熟語） [課題（復習）]学修内容を復習し、演習を通じて特に四字熟語の知識を身につける（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト④(4h)						
5	文章表現の基礎知識④ー用語についての理解②（諺・重複表現） [課題（復習）]学修内容を復習し、演習を通じて重複表現を避ける技術を実践的に身につける（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト⑤(4h)						
6	文章表現の基礎知識⑤ー用語についての理解③（慣用句・用語の心得） [課題（復習）]学修内容を復習し、演習を通じて受け手に思いやりのある表現を意識する癖を身につける（教科書巻末問題）Googleフォームによる確認テスト⑥(4h)						
7	文章表現技術の習得①ー敬語表現法 敬語での会話をグループで実践する。 [課題（復習・定着）]グループでの実践の反省と、指定した課題を解く。学修内容の復習を通じて確かな敬語表現を身につける（教科書巻末問題&補助プリント）。Googleフォームによる確認テスト⑦(4h)						
8	文章表現技術の習得②ー文章の構成・要素 [課題（復習・発展）]学修内容をもとに、相手に内容が伝わりやすい論旨のよく通る文の順序を学ぶ（教科書巻末問題）Googleフォームによる確認テスト⑧(4h)						
9	文章表現技術の習得③ー語法（文体の統一）、主語述語1 小グループによる確認・意見交換を行う 授業時間外の課題も参考にしながら、自分なりの意見をまとめる [課題（復習）]指定した課題を解いてくると学修内容の復習を通じて簡潔な文章表現の仕方を学ぶ（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト⑨(4h)						
10	文章表現技術の習得④ー語法（主語と述語2、修飾語と被修飾語） [課題（復習）]学修内容の復習し、文の構造を正しく理解できるようにする（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト⑩(4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
11	文章表現技術の習得⑤ー語法（句読点・ダラダラ文）、原稿用紙の使い方と実践 [課題（復習・準備）]学修内容を復習し、原稿用紙の使い方まとめプリントを提出する。教科書巻末問題。Googleフォームによる確認テスト⑩(5h)
12	文章表現技術の習得⑥ー手紙文・はがきの書き方と実践 [課題（準備）]教科書巻末にある用紙を使って、指定された中から選択した種類のハガキを完成させる。Googleフォームによる確認テスト⑪(5h)
13	口頭表現の学修ー話しことばと書き言葉〔話しことばの特徴・話し方の基礎〕電話の応対について ※相互に実践する。 [課題（復習・準備）]学修内容をもとに、スピーチや、口頭発表ができるようにする（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト⑫(4h)
14	口頭表現の学修ー自己紹介について学び、自己理解、自己PR。 授業時間外の課題も参考にしながら、自分の意見を発表する 就職等に必要書類の書き方と自己理解ー履歴書の書き方。 [課題（準備）]自己紹介のための情報収集をし、自分についてまとめる。履歴書の下書きを完成させる。Googleフォームによる確認テスト⑬(4h)
15	就職等に必要書類の実践ー履歴書の清書 授業時間外の課題も参考にしながら、自分の志望動機や自己PR等をまとめる [課題（準備）]志望動機・自己PR・大学で学んだこと等を中心に清書できるよう準備をしてくる。Googleフォームによる確認テスト⑭(4h)
時間外での学修	毎回の授業時間外課題、確認テストに真摯に取り組んで、基礎知識を培いましょう。[課題]に示した事柄をきちんとこなしましょう。質問等があれば、研究室（B204：B号館2F）へどうぞ。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：63時間]
受講学生へのメッセージ	コミュニケーション能力は、社会人基礎力の中心です。そして、国語表現は、それを使い人間関係を成立させる源です。豊かな人生を送るために、各自の国語表現力を磨くべく、積極的に授業に参加してください。 オフィスアワー：質問・相談事は授業の前後に対応しますので、遠慮せず声をかけてください。もしくは、B204（B号館2階）に気軽に来てください。

【9L1L103】国語表現		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	鈴木 孝育						
資格・制限等	歯科は選択必修						
授業内容	社会人基礎力として、コミュニケーション能力の養成が声高く求められている現代において、正しいことばの使い方を身につけ、自分の考えを的確に相手に伝えたり、相手の考えや感情を把握したりすることは、社会人・職業人として肝要なことです。そこで、この授業では文章表現における用字・用語の習得から表現技術を磨き、まずは基礎としての書き言葉を学んだ上で、社会生活で必要となる口頭表現を身につける学修を行います。様々な文章の書き方を学ぶとともに、自己紹介の情報を集め、自己PRが表現できるよう、就職試験にも直結する実践的な表現力を養成します。						
実務家教員	高等学校国語科教員 33年						
授業方法	講義と問題演習を合わせた形式の授業を次の流れで展開します。内容によっては、発表や、ミニ討議を行います。また、各回に質疑応答の時間を設定し、問題点を解決していきます。 1. 教科書に基づいたパワーポイントによる講義（文章作成の基礎知識の修得） 2. 教科書巻末問題演習等の課題（実践的鍛錬） 3. Googleフォームによる小テストの実施（確認・復習テスト）						
到達目標	知識・理解	国語の語彙と用法についての知識・理解を深めることで、社会変化に伴う多様な人間関係を生き抜くための豊かな表現力を身につける。			◎		
	思考・判断・表現	社会生活における確かな国語力を身につけ、課題や問題点を的確に捉え、思考を深めるとともに、自己を俯瞰して見ることで客観的な自己理解をすることができる。			◎		
	技能	社会人・職業人に必要な実用的な文章、並びに専門科目で求められる論理的な文章を理解する基礎知識を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	思考と表現及びコミュニケーションの最も大切な基盤は国語力であると理解し、興味と関心をもって主体的に取り組むことができる。			△		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	30	-	-	60
	確認・復習テスト		10	-	10	-	20
	提出物・受講態度		-	-	10	10	20
	合計(点)		40	30	20	10	100
評価の特記事項	試験（筆記試験・確認テスト）は、授業内及び定期試験期間に行います。受講態度は、学修への取り組み状況、課題の提出状況等から総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験（筆記試験）の受験資格はありません。						
ICT活用	各授業後の確認テストを、Googleフォームを活用して実施します。						
課題に対するフィードバック	各授業後の確認テストは、Googleフォームにて実施し、自己採点時にフィードバックできるよう解説をします。また、各授業前に実施する課題プリントは、毎回授業時に集め、個々の取り組みや成果と学びを確認し、質問にはコメントを返します。						
テキスト	『すぐに役立つ国語表現 第3版』国語表現法研究会 編 学術図書出版社(1,925円) ISBN:978-4-87361-752-7						
参考書・教材	必要に応じて授業中に指示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業の内容と方法についての説明と、コミュニケーションツールとしてのことばの機能に関する概説 [課題（準備・復習）]シラバスを熟読してくる。図書館などでことばの機能に関する文献を読み、理解を深める（配布プリント）。Googleフォームによる確認テスト①(4h)						
2	文章表現の基礎知識①ー用字についての理解①（ローマ字・仮名）【仮名遣い・送り仮名】 [課題（復習・定着）]学修内容を復習し、仮名遣いについての正しい知識を演習を通じて確実に身につける（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト②(4h)						
3	文章表現の基礎知識②ー用字についての理解②（漢字）【難読語・同音異義語・同訓異義語・類義語・相似形】 [課題（復習・発展）]学修内容を復習し、演習を通じて漢字の知識を増やす（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト③(5h)						
4	文章表現の基礎知識③ー用語についての理解①（反対語・対照語・四字熟語） [課題（復習）]学修内容を復習し、演習を通じて特に四字熟語の知識を身につける（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト④(4h)						
5	文章表現の基礎知識④ー用語についての理解②（諺・重複表現） [課題（復習）]学修内容を復習し、演習を通じて重複表現を避ける技術を実践に身につける（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト⑤(4h)						
6	文章表現の基礎知識⑤ー用語についての理解③（慣用句・用語の心得） [課題（復習）]学修内容の復習と演習を通じて受け手に思いやりのある表現を意識する癖を身につける（教科書巻末問題）Googleフォームによる確認テスト⑥(4h)						
7	文章表現技術の習得①ー敬語表現法 敬語での会話をグループで実践する。 [課題（復習・定着）]グループでの実践の反省と、指定した課題を解く。学修内容の復習を通じて確かな敬語表現を身につける（教科書巻末問題&補助プリント）。Googleフォームによる確認テスト⑦(4h)						
8	文章表現技術の習得②ー文章の構成・要素 [課題（復習・発展）]学修内容をもとに、相手に内容が伝わりやすい論旨のよく通る文の順序を学ぶ（教科書巻末問題）Googleフォームによる確認テスト⑧(4h)						
9	文章表現技術の習得③ー語法（文体の統一）、主語述語1 小グループによる確認・意見交換を行う 授業時間外の課題も参考にしながら、自分なりの意見をまとめる [課題（復習）]指定した課題を解いてくると学修内容の復習を通じて簡潔な文章表現の仕方を学ぶ（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト⑨(4h)						
10	文章表現技術の習得④ー語法（主語と述語2、修飾語と被修飾語） [課題（復習）]学修内容の復習し、文の構造を正しく理解できるようにする（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト⑩(4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
11	文章表現技術の習得⑤ー語法（句読点・ダラダラ文）、原稿用紙の使い方と実践 [課題（復習・準備）]学修内容を復習し、原稿用紙の使い方まとめプリントを提出する。教科書巻末問題。Googleフォームによる確認テスト⑩(5h)
12	文章表現技術の習得⑥ー手紙文・はがきの書き方と実践 [課題（準備）]教科書巻末にある用紙を使って、指定された中から選択した種類のハガキを完成させる。Googleフォームによる確認テスト⑪(5h)
13	口頭表現の学修ー話しことばと書き言葉〔話しことばの特徴・話し方の基礎〕電話の対応について ※相互に実践する。 [課題（復習・準備）]学修内容をもとに、スピーチや、口頭発表ができるようにする（教科書巻末問題）。Googleフォームによる確認テスト⑫(4h)
14	口頭表現の学修ー自己紹介について学び、自己理解、自己PR。 授業時間外の課題も参考にしながら、自分の意見を発表する 就職等に必要書類の書き方と自己理解ー履歴書の書き方。 [課題（準備）]自己紹介のための情報収集をし、自分についてまとめる。履歴書の下書きを完成させる。Googleフォームによる確認テスト⑬(4h)
15	就職等に必要書類の実践ー履歴書の清書 授業時間外の課題も参考にしながら、自分の志望動機や自己PR等をまとめる [課題（準備）]志望動機・自己PR・大学で学んだこと等を中心に清書できるよう準備をしてくる。Googleフォームによる確認テスト⑭(4h)
時間外での学修	毎回の授業時間外課題、確認テストに真摯に取り組んで、基礎知識を培いましょう。[課題]に示した事柄をきちんとこなしましょう。質問等があれば、研究室（B204：B号館2F）へどうぞ。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：63時間]
受講学生へのメッセージ	コミュニケーション能力は、社会人基礎力の中心です。そして、国語表現は、それを使い人間関係を成立させる源です。豊かな人生を送るために、各自の国語表現力を磨くべく、積極的に授業に参加してください。 オフィスアワー：質問・相談事は授業の前後に対応しますので、遠慮せず声をかけてください。もしくは、B204（B号館2階）に気軽に来てください。



【9L1L104】心理学		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	茂木 七香						
資格・制限等	特になし						
授業内容	私たちは様々な経験を通して自分には心があると知っていますが、その仕組みや働きは、触れないし目に見えないし、何だかよく分からない気がします。この授業では人の心のしくみや働きについて学びます。それはあなたの心でもあるので、確かにそうだなと実感しながら理解できる内容です。心理学の数多くの知見の中から、皆さんが大学生活や今後の人生を送る際に知っている役立つもの・面白いものを厳選しました。授業で得た知識を自分や周りの人々に照らし合わせてみると、より深い学びに繋がります。						
実務家教員	病院臨床心理士・6年、学生相談室臨床心理士・9年						
授業方法	基本は講義形式ですが、課題を用いた自分自身の振り返り、ICTツールを用いた意見交流など能動的な学び（アクティブラーニング）の手法も取り入れます。4学科の受講生同士協力し交流しながら進めます。						
到達目標	知識・理解	人と関わりを持ちながら生きる上で基盤となる心理学への理解を深め、知識を身につけることができる。			○		
	思考・判断・表現	学修内容を現実生活と結びつけて考え、様々な場面で適切に対処するための思考力や判断力、表現力を培う。			◎		
	技能	社会人となるために必要なコミュニケーション能力を身につけるため、努力することができる。			△		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート		10	10	-	10	30
	授業時間内課題		5	10	5	10	30
	授業時間外課題		10	10	-	10	30
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		25	30	5	40	100
評価の特記事項	レポート：課題内容はルーブリック(評価基準)とともに授業内で提示 授業時間内課題：授業で記入し提出するワークシートやミニツペーパー 授業時間外課題：授業終了時に配付し次回授業で提出						
ICT活用	授業の理解度確認や受講生間の意見交流のためにクラウドサービスsli.doやGoogleフォームを適宜使用します。質問や要望はメールでも受け付けます（メールアドレスは授業内で連絡）。						
課題に対するフィードバック	授業時間外課題は次回以降の授業で全体的なコメントを適宜伝えます。						
テキスト	教科書は指定しません。必要な教材は授業時に配付します。						
参考書・教材	参考図書は授業で紹介いたします。無料オンライン教育サービスedXの教材、Introduction to Psychology (St. Margaret's Episcopal School提供)や国内外の他大学や研究機関作成の動画等も使用予定です。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	心理学とその歴史：日常生活と心理学 心理学の歴史 脳と心の関係 [課題(復習)]シラバスを読んで、一番興味を持った内容について書く(2~4h)						
2	感覚・知覚：知覚の不思議 錯覚 運動知覚 短期記憶と長期記憶 [課題(復習)]身の回りの「知覚の不思議」を探してみる(2~4h)						
3	記憶・思考・知能：記憶のメカニズム 思考の型 知能の構造 [課題(復習)]自分の思考の型を考えてみる(2~4h)						
4	学習：条件づけ 一般化と分化 動機づけ 観察学習 [課題(復習)]自分のこれまでの学習を振り返る(2~4h)						
5	発達①胎児期～児童期：生涯発達の視点 発達課題 各発達段階の特徴 [課題(復習)]自分のこれまでの発達を振り返る(2~4h)						
6	発達②青年期～老年期：各発達段階の特徴と発達課題 死について [課題(復習)]自分のこれからの発達について考えてみる(2~4h)						
7	感情と性格：感情生起の中核説と末梢説 類型論と特性論 性格検査 [課題(復習)]自分の性格はどのようにして形づくられたのか考えてみる(2~4h)						
8	身の回りの心理学：映画・アニメ・本などの内容を心理学の知識や理論で説明する。 [課題(復習)]身の回りの心理学を見つけてみる(2~4h)						
9	対人：ステレオタイプ 印象形成 態度 バランス理論 [課題(復習)]自分の身近なバランス理論の例を考えてみる(2~4h)						
10	社会(他者の影響)：社会的手抜き(傍観者効果) 社会的促進 社会的望ましさ 同調 [課題(復習)]自分の経験した社会的手抜き・促進などの例を振り返る(2~4h)						
11	社会(集団)：集団の種類と性質 リーダーシップ論 [課題(復習)]自分の経験した集団のリーダーをタイプに分類してみる(2~4h)						
12	社会(消費者の心理)：認知的不協和 葛藤 宣伝 説得 レポートの書き方：ミニレクチャー [課題(復習)]テーマについてのレポートを期限までに作成する(6~8h)						
13	臨床：心のしくみ ストレスとメンタルヘルス カウンセリング [課題(復習)]自分のストレス対処法を振り返ってみる(2~4h)						
14	レポートを用いた反転授業：レポート内容の交流 レポート内容の交流 レポートのプレゼン資料作成 [課題(復習)]自分のレポートを振り返ってみる(2~4h)						
15	まとめ：まとめ：レポートのフィードバック リクエスト授業 [課題(復習)]これまでに受けてきた心理学の授業を振り返る(Googleフォーム)(1h)						
時間外での学修	授業時間外課題に確実に取り組んで下さい。次回授業で活用することもあります(反転授業)。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】						
受講学生へのメッセージ	心理学は自分の心を知るための学問でもあります。授業に来る時には「今日の私の心はどんな状態だろう」と心を感じるアンテナをONにして来てください。オフィスアワー：火曜日11時~12時(A306研究室)						

【9L2L101】日本国憲法		教養科目		1年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	大矢 武史					
資格・制限等	幼教は卒業必修、歯科は選択必修					
授業内容	この講義は、第1部と第2部で構成される。第1部（第1講～第8講）では、憲法の意義や歴史、前文と基本原理、人権保障について学ぶ。第2部（第10講～第15講）では近代民主主義や政治のしくみ、平和主義について学ぶ。それにより、専門科目の土台となる法知識を修得するとともに、主権者として他者を尊重し責任ある行動をとることができる人間性を育む。					
実務家教員						
授業方法	授業は、講義形式で行う。 第9講で中間試験を行い、第1部の理解度を確認する。					
到達目標	知識・理解	①憲法役割、基本原理、三権分立のしくみについて理解し、憲法が私たちの生活にどのように関わっているのかを説明できる。 ②人権の概念、歴史、現状について理解し、人権保障の役割について説明できる。 ③国会、内閣、裁判所のしくみについて理解し、各機関の役割や特徴について説明できる。			◎	
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	中間試験	50	-	-	-	50
	期末試験	50	-	-	-	50
	合計(点)	100	-	-	-	100
評価の特記事項	授業参画度を考慮し総合的に判断する場合もある。					
ICT活用	ICTの環境上可能であれば、学生が取り組める練習問題を用意する。					
課題に対するフィードバック	第9講で実施する中間試験では、解答を採点のうえ返却し、問題の解説も行う。					
テキスト	『マンガでわかる日本国憲法』 山本泰嗣監修 池田書店(1,458円) ISBN:978-4262154176					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	イントロダクション・憲法とはどのような法（ルール）なのか [課題（予習）]憲法と法律の違いについて調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]憲法とは、どのような法（ルール）なのか復習し理解しておく。(2h)					
2	憲法の歴史・憲法や人権といった概念はいつ、どのようにして誕生したのか [課題（予習）]市民革命と人権の歴史との関わりについて調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]各国で憲法や人権といった概念が誕生した背景について復習し理解しておく。(2h)					
3	日本国憲法の基本原理・憲法の前文には何が書いてあるのか [課題（予習）]日本国憲法前文で示されている内容について調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]4つの基本原理がそれぞれどのようなものなのか復習し理解しておく。(2h)					
4	授業内容・目標:基本的人権の保障・人権にはどんな種類があるのか [課題（予習）]基本的人権の3つの性質について調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]人権の性質や分類、制約について復習し理解しておく。(2h)					
5	授業内容・目標:平等権・許される差別と許されない差別の違いは何か [課題（予習）]絶対的平等と相対的平等との違いについて調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]14条の役割、許される差別と許されない差別の違いについて復習し理解しておく。(2h)					
6	授業内容・目標:自由権・一人ひとりがあるままに自分らしく生きるために必要なものは何か [課題（予習）]自由権の概念および自由権の分類について調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]自由権の意義や種類、思想良心の自由や表現の自由の重要性について復習し理解しておく。(2h)					
7	授業内容・目標:社会権・人間らしい生活を営むために必要なものは何か [課題（予習）]社会権に含まれる権利にはどのようなものがあるのか調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]社会権に分類される権利の役割について復習し理解しておく。(2h)					
8	授業内容・目標:新しい人権・プライバシーや髪型の自由は権利として保障されるのか [課題（予習）]新しい人権にはどのような権利があるのか調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]新しい人権が保障される根拠とその保障範囲について復習し理解しておく。(2h)					
9	中間試験（第1講～第8講までの理解度確認）					
10	授業内容・目標:政治のしくみ・選挙に行くことは権利なのか義務なのか [課題（予習）]三権分立とはどのようなしくみなのか調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]近代民主主義の条件、選挙の意義、三権分立のしくみについて復習し理解しておく。(2h)					
11	授業内容・目標:国会のしくみ・なぜ日本の国会では二院制（衆議院、参議院）が採用されているのか [課題（予習）]衆議院と参議院のそれぞれの特徴について調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]国会の地位、衆参各院の役割、衆議院の優越について復習し理解しておく。(2h)					
12	授業内容・目標:内閣のしくみ・なぜ日本では国民が政治のリーダー（内閣総理大臣）を選挙で直接選べないのか [課題（予習）]議院内閣制と大統領制のメリット・デメリットを調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]議院内閣制と大統領制のメリット・デメリットについて復習し理解しておく。(2h)					
13	授業内容・目標:裁判所のしくみ・なぜ裁判官は国会で民主的に制定された法律の規定を無効とすることができるのか [課題（予習）]三審制とはどのようなしくみなのか調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]司法権の独立、三審制のしくみについて復習し理解しておく。(2h)					
14	授業内容・目標:憲法9条と安全保障①・なぜ憲法9条の改正が叫ばれているのか [課題（予習）]安保法の成立により自衛隊の活動がどのように変わったのか調べ、理解しておく。(2h) [課題（復習）]9条の意味内容や問題点、自衛権について復習し理解しておく。(2h)					
15	授業内容・目標:憲法9条と安全保障②・安全保障関連法によって何が変わったのか [課題（予習）]第9講～第14講の内容を総復習し、理解しておく。(2h) [課題（復習）]第9講～第15講の内容を授業ノートにまとめておく。(4h)					

時間外での学修	講義後に教科書や配付資料を参考にしつつ授業ノートを作成し、学修内容の理解を深めること。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：64時間】 ICTの環境上可能であれば、学生が取り組める練習問題も用意する。
受講学生へのメッセージ	他の受講生に迷惑をかける行為（私語、電話、ゲーム、食事など）は厳禁です。 受講マナーを守り、他の受講生とともに学び・成長する意気をもってがんばりましょう。 オフィスアワー：授業に関する質問や相談については、授業の前後に授業教室で対応します。

【9L2L102】女性学		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	茂木 七香						
資格・制限等	歯科は選択必修						
授業内容	あなたの性別は何ですか？大垣「女子」短期大学の学生だから女性でしょうか。では、あなた自身は「自分の人生が女性という属性と共に在る」ことを日頃どれくらい意識して過ぎしていますか。この授業では女性をテーマとしてその特性や現代社会での役割や生き方を考えます。本学4学科の教員や多様な専門分野の外部ゲスト講師を招き、主担当講師（茂木：心理学教員）の道案内で女性の心身の特徴や社会・文化の中でどの位置づけなどを様々な切り口で扱っていきます。あなたがこの先の人生をどのように生きていくか、考えるきっかけになる内容です。						
実務家教員	茂木：臨床心理士(病院6年・学生相談室9年) 海原：歯科医師(大学病院勤務27年) 名和：保育所保育士9年 田中：漫画家39年 菅田：音楽療法関連公的機関勤務5年						
授業方法	基本的には講義形式。自分自身を振り返って記述する課題、クラウドサービスsli.doへの意見入力など、受講生が能動的に学ぶ手法(アクティブラーニング)を適宜活用します。他の受講生とも協力し交流しながら授業を進めます。						
到達目標	知識・理解	本授業の内容を理解し、これから生きていく上で基盤となる女性に関する知識を身につけることができる。			○		
	思考・判断・表現	授業で取り扱われた話題について適切に判断し、自らと結び付けた思考や表現をしようとする。			◎		
	技能	社会人となるために必要なコミュニケーション能力を身につけるため、努力することができる。			△		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート(中間・最終)		10	15	5	-	30
	授業時間内課題		-	15	5	10	30
	授業時間外課題		10	10	-	10	30
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		20	40	10	30	100	
評価の特記事項	レポート：第8回授業と最終授業後に提出予定。テーマはループリック(評価基準)と共に示す。 授業時間内課題：授業中に記入するワークシートや授業終了時に提出するミニッツペーパー 授業時間外課題：授業終了時に配付し時間外に取り組んで次回授業時に提出						
ICT活用	クラウドサービスsli.doやGoogleフォームを用いた意見発表や意見交流。						
課題に対するフィードバック	毎回の授業時間外課題については授業内で全体に適宜紹介しコメントする。レポート課題についても教員からのコメントや全体での内容の交流を行う。						
テキスト							
参考書・教材	「ひとりひとりが幸せな社会のために」令和2年版(内閣府・男女共同参画局パンフレット)を配付。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	はじめに(総合教育センター・茂木七香)：性別とは 女性学と男性学 性自認と性的指向 性役割 [課題(復習)]シラバスを読み、興味のあるテーマについて考える(2~4h)						
2	女性の人權の歴史(女性史研究家・度会さち子)：祖母・母・娘の時代に見る女性と家・労働・学び・戦争 コロナと女性 [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						
3	教育とジェンダー(茂木七香)：教育の中の隠れたカリキュラム 女性学に関連する各種データ [課題(復習)]配付されたパンフレットの題材について課題に取り組む(Googleフォーム)(2~4h)						
4	女性と音楽(音楽総合学科菅田文子)：音楽の演奏家・作曲家としての女性の活動 クラシック界での活動と現代ポピュラー音楽での活動の比較 音楽心理学研究から見た女性特有の音楽に対する感受性 [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						
5	家庭における女性の役割(総合教育センター猿井久美子)：家庭における女性の役割の変遷 家庭科教育とジェンダー [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						
6	子育てにおける女性の役割(幼児教育学科名和孝浩)：女性を取り巻く子育ての現状と動向 子育てと仕事の両立 [課題(復習)]近年の女性のキャリアやライフスタイルについて調べる(2~4h)						
7	データから見る女性学(茂木七香)：様々なデータから知る女性の現状(配付パンフレット使用、第3回授業時間外課題のフィードバック) [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						
8	女性と歯科(歯科衛生学科海原康孝)：(1)妊娠期における歯科保健 (2)母乳と虫歯 (3)歯科からの母親への育児支援 (4)思春期女性の摂食障害 [課題(復習)]歯科的観点から女性について学んだことをもとにした小レポートを作成する。(4~6h)						
9	マンガの中の女性と表情の描き分け方(デザイン美術学科田中久志)：少女マンガの成り立ちから見た、少女マンガと少年マンガで描かれる女性キャラクターの違い マンガにおける表情の描き方の基本について [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						
10	様々な姿で描かれる女性(茂木七香)：映画や本の中に出てくるジェンダー メディアとジェンダー [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						
11	発達心理学、メンタルヘルスの視点から(茂木七香)：発達心理学とジェンダー 女性のストレス 性の多様性とLGBT [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						
12	男女共同参画社会とライフキャリア(岐阜市女性センター河合覚子先生)：男女共同参画や女性に関連の深い法律について 多様な選択肢とともにあるライフキャリア [課題(復習)] [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						
13	LGBTについて(ぎふ・ぱすぽーと共同代表 雪齋)：トランスジェンダー当事者としての経験から [課題(復習)]テーマについての授業時間外課題に取り組む(2~4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	ひとりひとりが幸せな社会のために（雪齋、茂木七香）：誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて [課題(復習)]授業で取り上げたテーマについてのレポート作成(4~6h)
15	まとめ（茂木七香）：レポート交流会 これまでの授業の振り返りと学修内容のまとめ [課題(復習)] 授業で取り上げたテーマについてのレポート作成(4~6h)
時間外での学修	授業時間外課題に毎回しっかり取り組んで下さい。次回以降の授業で活用することもあります(反転授業)。授業を離れた日常生活場面では、授業で修得したテーマについて世の中でどのように取り上げられているか、あらためて意識してみてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	授業で扱っているテーマに関して深く考えたり色々な人の話を聞いたりする機会は日頃あまりないので、この授業で出会う様々な機会を有効に使って欲しいです。 オフィスアワー：火曜日11時~12時 (A306)

【9L2L103】地域の歴史と文化		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	小川 敏雄					
資格・制限等	歯科は選択必修					
授業内容	<p>本学が所在する岐阜県の歴史や文化には、地域的な特色があります。たとえば、東西通行の要衝にあり低湿地帯でもある西濃地域には、中央政権の争いの場となったり水との戦いが繰り返されたりした歴史や文化があり、美濃の中央に位置する岐阜地域には、時の権力者が本拠を置いて美濃支配の中心となった歴史や文化がありました。東濃地域には名家が発祥した歴史や文化、白鳥・白川郷地域には信仰に関わりの深い歴史や文化、飛騨地域には森林資源や木工技術との関わりから中央政権の直接支配を受ける歴史や文化がありました。こうした地域の特色を、代表的な歴史事象を通して理解していきます。</p>					
実務家教員						
授業方法	歴史事象を今に伝える史料、史跡や文化財の写真、現在地を示す地図等をパワーポイントで紹介しながら授業を進め、主体的思考が可能な部分では意見発表や討議等の学修法を取り入れます。					
到達目標	知識・理解	地域の歴史や文化について基本的な内容を理解することができる。◎			◎	
	思考・判断・表現	地域の歴史や文化が、地域の地形や地理的位置等自然環境とどのように関わっているか形成されてきたかを考えたり、判断したり、表現したりすることができる。○			○	
	技能	地域の歴史や文化の特色について、地図や写真、年表等を使って説明することができる。△			△	
	関心・意欲・態度	地域の歴史や文化に関心をもち、積極的に調べたり、考えたりして学修に取り組むことができる。◎			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示します。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	毎時間のミニテスト	30	20	-	10	60
	受講態度	-	5	5	30	40
	合計(点)	30	25	5	40	100
評価の特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニテストは理解度確認テストで、その時間の学修内容からポイントとなる点について発問し、解答するものです。ノートを見て解答してもかまいません。また、その時間の授業についての感想も書いてもらいます。解答は採点し、感想には教師のコメントを添えて次の時間に返します。</li> <li>受講態度は、真剣に聞いているか、しっかり発言するか、遅刻や早退はないかなどで評価します。</li> <li>全授業の3分の1以上欠席した場合は、単位取得の対象外とします。</li> </ul>					
ICT活用						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、毎時間のミニテストは回収後に解答の解説を行いますし、感想には教師のコメントを添えて次の時間に返します。					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	<p>岐阜県の歴史の地域的な特色 郷土岐阜県には、地域的な歴史や文化の特色があり、西濃地域や東濃地域、岐阜地域、白鳥・白川郷地域、飛騨地域等の特色を概括する。 [課題(復習)]本時の学修を復習し、今後の学修の見通しを立てる。(3h)</p>					
2	<p>西濃地域の歴史一壬申の乱と不破関一 畿内からの出口という地形的な特徴が壬申の乱の舞台となり、また、そうした特徴によって不破関が置かれた。 [課題(復習)]壬申の乱と不破関について学修したことをまとめる。(3h)</p>					
3	<p>西濃地域の歴史一美濃国府と美濃守笠朝臣麻呂一 畿内からの出口に近い西濃には、美濃国府や国分寺等重要な施設が置かれ、美濃国の中心地であった。8世紀前半、長年にわたって美濃守を務めた笠朝臣麻呂は、美濃国において諸事業を成し遂げた。 [課題(復習)]美濃国府と美濃守笠朝臣麻呂について学修したことをまとめる。(3h)</p>					
4	<p>西濃地域の歴史一関ヶ原の戦い一 東西通行の要衝である関ヶ原では、豊臣秀吉後の覇権を巡って石田三成と徳川家康が天下分け目の大合戦を行った。 [課題(復習)]関ヶ原の戦いについて学修したことをまとめる。(4h)</p>					
5	<p>西濃地域の歴史一大垣城と戸田氏一 寛永12(1635)年、大垣に配された譜代大名戸田氏は、治水や文教等特色ある藩政を行い、改革を繰り返しながら、幕命による事業にも対応して、明治に至る迄234年の治世を全うした。 [課題(復習)]大垣城と戸田氏について学修したことをまとめる。(4h)</p>					
6	<p>西濃地域の歴史一宝暦治水と明治の三川分流工事一 木曾・長良・揖斐の三川が合流し水害に悩まされた西南濃では、三川の分流が最大の課題であり、宝暦治水や明治の三川分流工事を通して漸く願いを叶えた。 [課題(復習)]宝暦治水と明治の三川分流工事について学修したことをまとめる。(4h)</p>					
7	<p>東濃地域の歴史一東濃の雄・遠山氏の発祥一 鎌倉時代、岩村の地に発祥した遠山氏は、戦国時代には全盛期を迎えて東濃一帯に勢力を張った。以後、武田氏や織田氏の有力大名に押されて本家が滅亡し、わずかに苗木と明智の二氏が江戸時代にまで命脈を保った。 [課題(復習)]遠山氏について学修したことをまとめる。(3h)</p>					
8	<p>東濃地域の歴史一美濃の雄・土岐氏の発祥一 平安時代、美濃に住み着いた源氏の一流は、土岐郡に本拠を移して土岐氏を名乗るようになった。鎌倉末期には足利尊氏に従って幕府打倒に与し、室町時代には美濃国守護となって本拠を厚見郡長森に移した。 [課題(復習)]土岐氏の発祥について学修したことをまとめる。(3h)</p>					

内容	
実施回	授業内容・目標
9	岐阜地域の歴史―土岐氏の変遷― 厚見郡に移った土岐氏は、長森から革手・福光・枝広・大桑へと府城を移しながら、200年以上にわたって美濃国守護の地位を保ち続けた。 [課題（復習）]8・9回の学修を復習し、土岐氏の変遷についてまとめる。(8h)
10	岐阜地域の歴史―斎藤道三と織田信長― 土岐氏を追いやって美濃国主となった斎藤道三は、稲葉山城を本拠とし館や城下町を築いて、この地を美濃の中心とした。道三の孫を稲葉山城に破って美濃に進出した織田信長は、壮麗な館や城下町を整えて天下統一の足場とした。 [課題（復習）]斎藤道三と織田信長について学修したことをまとめる。(4h)
11	岐阜地域の歴史―美濃代官役所の変遷― 関ヶ原合戦に先立つ戦いで岐阜城が落城し、本戦で徳川家康が勝つと、西軍に与した大名たちの所領が没収され、美濃国内には多くの幕府直轄地ができた。その支配を行うために美濃国奉行所が岐阜町に置かれ、以後、姫郷・揖斐・徳野・笠松へと変遷した。明治になって岐阜県庁とされ、厚見郡今泉村を経て現在地に移され今日に至る。 [課題（復習）]美濃代官役所の変遷について学修したことをまとめる。(3h)
12	白鳥・白川郷地域の歴史―白山信仰と浄土真宗― 霊峰白山は白山信仰の拠点として奈良から平安、鎌倉、室町時代にかけて隆盛を誇った。鎌倉時代には親鸞の弟子の嘉念坊善俊が白川郷に浄土真宗の道場を開き、一帯に信仰を広めて白川郷は浄土真宗隆盛の地となった。 [課題（復習）]白山信仰と白川郷の浄土真宗について学修したことをまとめる。(3h)
13	飛騨地域の歴史―両面宿禰と飛騨匠― 両面宿禰が治めていたとされる飛騨は、5世紀以降大和政権下に入ると、木工技術に優れる者が多いことから匠丁を出す国として律令に規定され、多くの匠丁が都に出て宮城や大寺院の造営に当たった。 [課題（復習）]両面宿禰と飛騨匠について学修したことをまとめる。(3h)
14	飛騨地域の歴史―飛騨の統一と高山町の形成― 飛騨国司の姉小路氏、高原郷の豪族江馬氏、飛騨国守護佐々木京極氏の被官から頭をもたげた三木氏が対抗し、三木氏が飛騨を統一した。しかし、天下人豊臣秀吉に従わなかったため配下の金森氏の攻撃を受け滅んだ。以後は金森氏が飛騨を支配して高山城を築いたり高山町の形成に努めたりした。 [課題（復習）]飛騨の統一と金森氏の飛騨攻略について学修したことをまとめる。(4h)
15	飛騨地域の歴史―幕府の直接支配と騒動― 金森氏の転封以後飛騨は一国が幕府直轄地となり、代官や郡代が派遣されて支配に当たったが、江戸時代には大原騒動、明治初年には梅村騒動という大騒動が起きた。 [課題（復習）]幕府の直接支配と騒動について学修したことをまとめるとともに、15時間 の学修を振り返り、岐阜県の歴史の地域的な特色をまとめる。(5h～8h)
時間外での学修	授業ごとに次回の授業内容を知らせますから、インターネット等で予備知識を得てきてください。授業では、史跡や文化財の所在地等を示しますから、見学に出かけるなど立体的な学修を進めると良いでしょう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	それぞれの地域にはそれぞれの地域の特性に合った歴史や文化があり、その歴史や文化が今日の地域社会を築き上げています。そうした歴史のロマンを感じるような学修にしたいと思います。 オフィスアワーは、毎週水曜日の授業後10:30～11:30、場所は非常勤講師控室です。

【9L3L101】生活環境論		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	猿井 久美子						
資格・制限等	特になし						
授業内容	健康で健全な豊かな生活を作り上げていくためには、生活にかかわる事象を多面的に理解し、自身の生活の場で選択・実践していくことが必要となります。自立した生活者として必要な科学的理解や生活課題を解決する力を身に付け、これからの自分自身の生活について考えます。						
実務家教員							
授業方法	講義を中心に調べ学習や課題学習等を取り入れながら、グループワークや個別発表活動を行います。知識の理解だけでなく、これからの生活について自ら考え、表現する力の形成を目指して展開していく予定です。						
到達目標	知識・理解	人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識を理解することができる。			◎		
	思考・判断・表現	家庭や地域社会における生活の中から問題を見いだし、課題を解決する方法を根拠に基づいて論理的に表現することができる。			○		
	技能	調査や実習、演習等を通して、生活に必要な基礎的な技能を身に付けることができる。			○		
	関心・意欲・態度	生涯を見通して自身の実生活に関連づけ学ぶ意欲を高め、学習内容を積極的に身に付けようと努力して学修に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は教養科目のDP及び到達指標との関連を示します。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		45	15	-	-	60
	課題・レポート・発表		-	10	15	5	30
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		45	25	15	15	100
評価の特記事項							
ICT活用							
課題に対するフィードバック	提出課題は内容、表現方法、完成度等を評価してフィードバックします。						
テキスト	『人と生活』『生活する力を育てる』ための研究会 編 片山倫子・渋川祥子・沖田富美子 責任編集 建帛社(2,200円) ISBN:978-4-7679-1446-6						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	人生のマネジメント 長寿社会とはどのような社会か、長寿の特徴を生かして豊かな生活を営むためのスキルついて学び、長寿社会で一人ひとりが生き生きと暮らす人生のマネジメントについて考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
2	身体活動と健康及び生活と健康の管理 身体活動量・運動量・体力と生活習慣病の関連について学び、各ライフステージにおける生活の仕方や管理、身体の生理的变化や健康との関係について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
3	生活の安全と安心 食生活、特に食品の安全性について、食べ物の安全と安心の概念、微生物性及び自然毒による食中毒、食品の放射能汚染、衛生管理、リスク分析について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
4	食生活について(1) 職の栄養機能、日本人の栄養摂取状態の現状、食の精神的機能、食事形態等について学び、食事に対する価値観や健康や環境に配慮した食生活について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
5	食生活について(2) 自分自身の食生活調査から問題点を発見し、課題を設定して解決する方法を根拠に基づいて論理的に考え、主体的に判断して表現する。 [課題(予習)]1日の食生活について調査し、課題を設定する。(4h)						
6	人間の生活と自然環境 人間の生活は自然環境の影響を受けるとともに人間の活動が自然環境に影響を与えていることを学び、持続性のある社会を構築するために自身の生活形態について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
7	生活の中の人間関係及び家族のかかわり 子どもや高齢者を取り巻く現代社会の課題や環境について学び、社会支援や支えあう人間関係、子どもと高齢者の福祉について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
8	家計からみた現代の暮らし 家族と暮らし方の変化や多様なライフコースと家計、経済的リスクの実態について学び、自分らしい生き方を豊かに実が現するための家計計画について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
9	生活のリスクとマネジメント 人生を送る上で発生する可能性のあるリスクへの準備や対応について考える。特に消費生活におけるリスクについて学び、個人レベルリスクの対応策と行動の選択について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
10	生活を守る法 人の誕生から死亡まで各ライフステージで関わる法律について理解し、現代社会における法の役割と私たちの生活について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
11	衣生活について(1) 衣服の機能、衣服素材の種類と性能、衣生活の計画・管理について学び、これからの健康で快適、機能的な衣生活について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						
12	衣生活について(2) 生活する上で必要な基礎的な手縫いについてその方法を理解し、実習する。 [課題(復習)]実習課題を完成し、自己評価をまとめる。(4h)						
13	住生活について 住まいの移り変わり、住空間の機能や快適で安全な住まい、平面図の読み取りについて学び、ライフスタイルと健康的な住まい環境について考える。 [課題(復習)]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。(4h)						



内容	
実施回	授業内容・目標
14	社会人になること（1） 社会の中の一員として働く中で、身だしなみの基本、美しい立ち居振る舞い、敬語の使い方等について学び、実習を通して身に付ける。 [課題（復習）]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。（4h）
15	社会人になること（2） 社会の中の一員として働く中で、外出先でのマナー、食事のマナー、書き方のマナー、人生の節目のしきたり等について学び、実習を通して身に付ける。 [課題（復習）]授業内容をまとめ、自分の考えを述べる。（4h）
時間外での学修	[課題]は授業の到達目標達成に必要となります。（ ）の標準学修時間をめどに取り組みましょう。提出や授業で活用し、評価に含まれます。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	自分自身の生活に課題解決意識をもって、積極的に学習に取り組んでください。オフィスアワーは、授業後に教室で行います。

【9L3L102】 暮らしの科学(物理・化学)		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	額 守						
資格・制限等	歯科は選択必修						
授業内容	私たちの暮らしのまわりには科学が関わることに満ち溢れています。たとえば、ドライクリーニングは石油系溶剤で洗うので油汚れや皮脂汚れに効果的、一方、汗やジュースの汚れは家庭用洗濯機で水洗いが効果的。もっときれいになるかと思ってお風呂とトイレの洗剤を両方使い毒ガスが発生し亡くなった主婦のお話。水のこと、昆布、鰹節などのうまみ成分、発酵食品、電池などすべて科学が関わっています。身のまわりの様々な現象を学習すれば充実した社会生活、安全な日常生活を送ることができます。本講義ではご自身の実生活でいつも起きている身近な事例をとりあげ卒業後も役立つ基礎知識を理解していきます。						
実務家教員	食品会社の基礎研究所に10年間勤務						
授業方法	講義、ディスカッション、調査・発表。質問やメッセージは、講義中や前後に問合せしてください。電子メール等でも受け付けます。						
到達目標	知識・理解	社会人として生活に役立つ暮らしの科学の基本的概念を理解する			◎		
	思考・判断・表現	暮らしの科学に関して習得し理解した知識を日常生活と結びつけ科学的・総合的判断力を養う			◎		
	技能	表やグラフなどから日常おこる科学現象、科学製品の現状とよりよい活用法について意識し考えることができる			△		
	関心・意欲・態度	科学と日常生活との関わりに興味や関心を持ち、主体的、意欲的に学修に取り組むことができる			○		
観点別評価	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
		筆記試験	30	10	10	-	50
	小テスト	10	10	-	10	30	
	自己評価	-	10	-	10	20	
	合計(点)	40	30	10	20	100	
評価の特記事項	自分自身の日常生活を振り返って科学的な現象を見極め、より充実した生活ができるように知恵や知識、思考力、興味関心を持つかどうかを評価基準とします						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援として、教科書の中には、QRコードがあるので講義中の指示に従って各自のスマホにて動画や写真を見る。このことにより、より具体的に内容を把握し理解が深まります						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして理解度確認テストを実施し、解答の解説をします						
テキスト	『楽しく学ぶ 暮らしの化学 ―生活に生かせる化学の知識―』 額 守 化学同人(1,980円) ISBN:978-4-759820-55-3 穴埋め形式の最新の教科書で講義中に重要事項を記載しながら学習し記憶にとどめさせます。講義の際は必ず持参し記載しながら学習してください。穴埋めする箇所について疑問点など学生同士で議論しながらより正しい解答に導ける時間を毎時間設定します。議論を重ねより主体的に深い学びを身に付けさせます。						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	第I部 飾る(衣) 貴金属(金、白金、銀) 地球上にある物質をまとめた周期表、いろいろな元素について学んでみよう。憧れの貴金属(金、白金、銀)の特徴を知ろう [課題(復習)]身近な貴金属とその利用の現状をまとめる(4h)						
2	第I部 飾る(衣) 香料, 化粧品 食品や日用品に使われている香料について学ぶ。化粧品の種類やその役割、成分や効果などについて理解する [課題(復習)]香料及び女性にとって欠かせない化粧品の特性と性質についてまとめ、成分や効果に関して物質レベルで理解する(4h)						
3	第I部 飾る(衣) 繊維, 衣類 衣服に使われている繊維の種類と特徴、洗濯表示マークについて学ぶ [課題(復習)]身の回りの衣服に使われている繊維の種類や取り扱い方法や洗濯の方法などをラベル表示などから整理し理解する(4h)						
4	第I部 飾る(衣) 石けん, 洗剤 洗濯の際に用いる石けんの役割、洗髪の際のシャンプーなど界面活性剤、ドライクリーニングの特徴やそれら洗浄方法の上手な使い分け方について理解する [課題(復習)]石けんをはじめとした界面活性剤やクリーニングの基礎知識について整理する(4h)						
5	第II部 食べる(食) 味覚 五基本味(甘味、塩味、酸味、苦味、うま味)の成分がどんな物質によりそれらの性質を示しているか把握しそれらの特徴を理解する [課題(復習)]五基本味やそれらに起因する各成分に関して整理し理解する(4h)						
6	第II部 食べる(食) 栄養① 炭水化物, たんぱく質 5大栄養素である炭水化物、たんぱく質の成分や特徴を把握しそれらが健康にどのように関与しているか理解する [課題(復習)]5大栄養素である炭水化物、たんぱく質について学んだことを復習する(4h)						
7	第II部 食べる(食) 栄養② 脂質, ミネラル, ビタミン 5大栄養素である脂質、ミネラル、うま味についてその特徴を理解する [課題(復習)]脂質、ミネラル、うま味について学んだことを復習する(4h)						
8	第II部 食べる(食) 発酵 発酵とは? 味噌、醤油、みりん、漬物、ヨーグルト、チーズ、アルコール、ワイン、日本酒など発酵食品の種類、製法や発酵の過程について学ぶ。アルコール飲料の製法などを解説。ウイスキー、アルコール代謝、酢酸、パン、なれずし、納豆の製法について学ぶ [課題(復習)]日本古来の発酵食品や発酵乳製品など発酵食品の種類や特徴について学んだことを整理する(4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
9	<p>第Ⅱ部 食べる(食) 水 水の特徴や種類を学ぶ。調理の際に用いる調理法は物質の状態変化。圧力鍋、浸透圧など水にかかわる化学現象を理解し調理に役立てる知恵を獲得する [課題(復習)]人間にとって欠かせない水の特性と性質についてまとめる。調理と物質の状態変化の関係について学習する(4h)</p>
10	<p>第Ⅲ部 暮らす(住) 金属と文明 人類の歴史と金属の関わり現代生活での金属や合金の貢献などについて学ぶ [課題(復習)]人間にとって欠かせない金属や合金の特性と性質について理解する。人類文明と金属との関係について学習する(4h)</p>
11	<p>第Ⅲ部 暮らす(住) 薬と毒 薬の歴史や主要な薬に関して内容を理解する。農薬や毒物に関して正しい知識を身に付けられるよう解説する [課題(復習)]人間の健康維持に欠かせない薬の特性と性質について理解する。農薬や毒物に関して正しい知識を身に付け正しく利用し安全な生活が営めるよう学習する(4h)</p>
12	<p>第Ⅲ部 暮らす(住) 色と光 色はなぜ見え、なぜそのような色に見えるのか。花火の色はなぜあの色に見えるのか。光や色の変化や発色の機構について概説する [課題(復習)]人の心をほっとさせ美しいと感じさせる色の正体を学んでみよう(4h)</p>
13	<p>第Ⅲ部 暮らす(住) 家電と日用品 化学反応を利用した使い捨てカイロや冷却パック、冷蔵庫の冷えるしくみ、電子レンジや電気こたつの温めるしくみなど日用品や家電製品の原理を理解しより有意義な日常生活が送れるように概説します [課題(復習)]人の心をほっとさせ美しいと感じさせる色の正体を理解する(4h)</p>
14	<p>第Ⅲ部 暮らす(住) 電気と電池 太陽光を利用したソーラーセルや風力発電など自然エネルギーについて学ぶ。電池の開発の歴史、電池の種類(マンガン電池、ニカド電池、リチウムイオン電池、燃料電池など)、製法と特徴を理解し日常生活で上手に使い分ける方法を理解する [課題(復習)]太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電など自然エネルギーの実情と課題や今後の予測について整理する。スマホなど身の回りにある電池について調べ、整理し理解する(4h)</p>
15	<p>第Ⅲ部 暮らす(住) 石油とプラスチック 人類のエネルギー供給源である化石燃料について学ぶ。プラスチックの原料など石油の重要度と応用実態を把握しリサイクルに関しても解説する [課題(復習)]限りある炭素資源(化石燃料)の実情と課題や今後の予測について整理する。石油由来のナフサから製造されているプラスチックについて種類や特徴について整理し理解する。限りある資源の有効な活用方法やリサイクルに関して何ができの自分自身でよく考えてみよう(4h)</p>
時間外での学修	<p>理系科目は嫌い、「化学や物理」は記号が多くておぼえることが多いので嫌い、わからない、難しいといった印象を持っている人が多いかもしれません。日常生活の中で「化学や物理」がどのように関わっているか、意識してみましょう。食品、洗剤など日用品についている成分表なども注意して見てみると面白いですよ。実は皆さんはスマホの充電機や化粧品など様々な「化学や物理の関わる」製品に毎日接していてその恩恵を預かっています。講義中に知識の整理と確認のための小テストも行います。各回、学修した内容と日常生活とのかかわりを毎回の授業前後に探索し整理しまとめてみよう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>この講義では、記号や反応式、数式をただ暗記するのではなくみなさんにとって日々の生活に直接関係するお話をいっぱいします。「スマホの充電機はこうなっているのか。」「毎日食べる食材から私の体できているんだ。」などの内容です。質問などは講義前後に直接あるいは電子メールアドレス(koketsu@gifu-u.ac.jp)にて行ってください。いつでも受け付けます</p>

【9L3L103】基礎生物		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	加藤 智樹						
資格・制限等	歯科は卒業必修						
授業内容	基礎生物学では、人間（ヒト）の生命現象を中心にとり上げる。「生きている」とはどういうことなのか、について科学的観点から解説し、「生きる」とは何かについてともに考える。						
実務家教員							
授業方法	講義を中心とした授業展開を基本とし、教科書だけでなくスライドや配付資料も併用しながら行う。講義の実施にあたっては「レポート課題」も取り入れ理解を深める。（状況により遠隔授業となることがある）						
到達目標	知識・理解	人間（ヒト）を中心とした基本的な生物の成り立ちと生命現象を理解し、生物の営みを理解するための知識を身につける。			◎		
	思考・判断・表現	生命現象に対して修得した知識を用いて説明ができる。			○		
	関心・意欲・態度	生物学に関連する情報に関心を持ち、自ら調べることにより自分自身の力で知識を広めることができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		60	-	-	-	60
	レポート		-	20	-	20	40
	合計(点)		60	20	-	20	100
評価の特記事項	筆記試験は定期試験となります。「レポート」は複数回実施し、最終的に40点分に換算します。						
ICT活用	GoogleFormやMicrosoftFormsなどオンラインチェックシートを用い、授業で取り上げた内容確認を行う。						
課題に対するフィードバック	筆記試験・レポート実施後に、重要事項の解説を行う。						
テキスト	『ヒトを理解するための 生物学』八杉貞雄 裳華房(2,420円) ISBN:978-4-7853-5226-4						
参考書・教材	講義内で伝達する。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	○基礎生物学オリエンテーション ・「生きている」とは ・エネルギー ・生命体を構成する細胞 →生命活動を維持するエネルギーや生命体を構成する細胞について理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に生命を維持するエネルギーや細胞について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)						
2	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割)① ・消化器系器官と栄養素 →エネルギーの源となる食物から栄養を取り込むシステムについて理解する [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に消化器系臓器の構造と機能について、教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)						
3	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割)② ・循環器系器官 ・呼吸器系器官 ・ミトコンドリアとATP →栄養素と酸素を運ぶ血液循環について理解する。ミトコンドリアでのATPに酸素が必要であることを理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に循環器系および呼吸器系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)						
4	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割)③ ・筋系 ・骨格系(関節含む) →「運動機能」を発揮する筋肉と骨・関節について理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に運動器系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)						
5	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割)④ ・感覚器系 ・神経系 →内外の情報をキャッチする感覚器系と内蔵機能を統制する神経系について理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に感覚器系および神経系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)						
6	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割)⑤ ・血液系 ・生体防御(免疫) →血液成分と生体防御のしくみを理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に感覚器系および神経系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)						
7	○ヒトの構造(つくり)と各臓器の機能(役割)⑥ ・体液とイオン/生体恒常性(ホメオスタシス) ・泌尿器系 →体液の成分と調節、腎臓の機能に、排尿機構などについて理解する。 [課題(復習)] 講義で取り上げた生物学的知識、特に泌尿器系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。(4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
8	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割）⑦ ・DNAの構造と機能／タンパク質合成 →DNAのつくりと役割、タンパク質の合成などについて理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に種の保存とDNAについて教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。（4h）
9	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割）⑧ ・DNAと細胞分裂 ・生殖細胞と生殖系／ヒトの発生 →細胞分裂時のDNAの挙動、ヒトの発生について理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に生殖系およびヒトの発生について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。（4h）
10	○ヒトの構造（つくり）と各臓器の機能（役割）⑨ ・内分泌（ホルモン）系 →ホルモンを分泌する臓器とホルモンの種類・機能を理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生物学的知識、特に内分泌系臓器の構造と機能について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。（4h）
11	○ヒトを取り巻く環境と生物 ・微生物 ・生態系 →地球を中心とした生態系について理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた生態系の知識について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。（4h）
12	○生命を維持する物質 ・栄養素とエネルギー ・酵素とビタミン／常在菌と常在細菌 →生命活動に関わる重要な物質を知り、役割を理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた栄養学および微生物学的知識について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。（4h）
13	○人体に発生する異常（病気・疾患）の例 ・糖尿病 ・高血圧 ・脳卒中 ・がん →健康的な生活を営むために、代表的な病気を理解する。 [課題（復習）] 講義で取り上げた人体に発生する疾患について生物学的知識をベースに、教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。（4h）
14	○まとめと振り返り① ・重要事項の確認① ・問題演習① →問題演習を通じて「生物とは何か」「人体（ヒト）の構造と機能」の理解を深める。 [課題（復習）] 生物学的知識全般について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。（4h）
15	○まとめと振り返り② ・重要事項の確認② ・問題演習② →問題演習を通じて「生物とは何か」「人体（ヒト）の構造と機能」の理解を深める。 [課題（復習）] 生物学的知識全般について教科書や配布資料、インターネット資料などを用い整理する。（4h）
時間外での学修	講義終了後に教科書は配布プリント・インターネットなどを用いて各自、復習すること。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	生物学的な知識は、対人援助職のみならず社会人の教養としても非常に大切です。各自、予習・復習をして授業に臨んで下さい。加藤のオフィス(研究室)は「G204」です。オフィスアワーについては講義開始時に伝達します。

【9L4L101】子育て入門(デ音歯)		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	川村 弘子						
資格・制限等	歯科は選択必修						
授業内容	子どもの将来の健やかな成長や発達の基礎は、子どもの養育にあたる保護者や保育者達が子どもの「育つ力」を信じて笑顔で寄り添いながら、子ども時代に「本当の子どもの生活を楽しむ」ことにあります。子どもを信じ、子どもと関わる中で愛着関係を築き、生き生きと子育てを楽しむための基礎作りを図ります。						
実務家教員	幼稚園教諭・38年						
授業方法	講義を中心にしながら、ビデオ視聴や演習、子育てに必要な絵本や遊びの実践・制作、レポートを通して自身の幼少期の振り返り、グループワークなど能動的な学びの機会も取り入れていきます。						
到達目標	知識・理解	子どもを育てる基礎となる内容の理解を深め、必要な知識を身につけることができる。			◎		
	思考・判断・表現	時代の変化や様々な価値観のある中で、子どもの養育や保育にあたる立場としての在り方、生き方及び子どもを育てるための柔軟な対応の仕方を理解し、子育ての基礎を身につけることができる。			○		
	技能	子育てに携わる立場としての必要な社会生活の基本やコミュニケーション能力を身につけることができる。			○		
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的かつ意欲的に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号はDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		40	-	-	-	40
	授業ごとの振り返り		10	10	-	-	20
	発表・レポート		-	10	10	5	25
	受講態度		-	-	5	10	15
合計(点)		50	20	15	15	100	
評価の特記事項	授業ごとの振り返りは、ビデオ視聴の感想やフィードバックとして学んだ内容についての確認を行いません。レポートは、子育てにかかわる社会問題や自身の幼少期を振り返る作業を時間外課題として出します。授業態度は、授業での取り組みの様子で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験の受験資格はありません。						
I C T活用							
課題に対するフィードバック	提出課題については個別にコメントをしたり、次回の授業で紹介をして解説を加えます。						
テキスト	受講時に資料を配付します。						
参考書・教材	今井和子著『0・1・2歳児の心の育ちと保育』『0歳児から5歳児 行動の意味とその対応』小学館 今井和子著『遊びこそ豊かな学び』神田英雄著『はじめての子育て「育ちのきほん」』ひとなる書房 河原紀子監修・執筆『0～6歳 子どもの発達と保育の本』学研						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス「子育て・子育ての理解を深めながら、子どもの素晴らしさを知る」自身の子ども時代を振り返りながら「自分育ち」を見つめ直し、自己理解から入る [課題(復習)] 母親へのアンケートを通して、自身の育ちへの理解を深める (4h)						
2	親子の絆①いろいろな子育ての事例を通して、親子の絆についての理解を深める [課題(復習)] 視聴したビデオから親子の絆について考え、レポートをまとめる(4h)						
3	親子の絆②いろいろな家族の事例を通して、より深い子ども理解や親子の絆について考える [課題(復習・準備)] 学修した内容を復習し、関連した文献にふれること 近年の子育てに関する問題について情報を収集する (4h)						
4	子育てをめぐる親の意識と現状について テーマを決めてグループディスカッションをする [課題(復習)] 近年の子育てに関する様々な問題について自身の考えをまとめる (4h)						
5	乳児の理解と接し方① 0～5か月 応答的なかわりについて [課題(復習)] 乳児に対する応答的なかわりについて考え、具体的な例をあげる (4h)						
6	乳児の理解と接し方② 6～11か月 発達を促すかわりについて [課題(復習)] 乳児の発達を促すかわりにはどんなことがあるか例をあげて考える (4h)						
7	幼児の理解と接し方① 1歳頃 発達の様子と個人差 [課題(復習)] 三項関係について具体的な例をあげながら理解を深める (4h)						
8	幼児の理解と接し方② 2歳頃 自我の拡大から自我の充実へ [課題(復習)] 配布された資料をもとに学修した内容を復習し、次回の授業内容に繋げる (4h)						
9	幼児の理解と接し方③ 3歳頃 就園に向けて 社会生活の広がり [課題(復習)] 自身の就園や幼児期の体験について振り返り、情報を収集する (4h)						
10	子育てアラカルト① しつけについて 基本的な生活習慣とは [課題(復習)] 配布された資料をもとに学修した内容を復習し、基本的な生活習慣の確立について考える (4h)						
11	子育てアラカルト② 伝統文化の生かし方、楽しみ方 [課題(復習)] 日本古来の伝統文化や地域に伝わる行事について情報を収集し、自身の幼少期の体験を振り返る (4h)						
12	子育てアラカルト③ 絵本の楽しみ方 いろいろな絵本にふれたり、絵本づくりを体験する [課題(復習)] 自身の心に残る絵本を振り返りながら、絵本のおもしろや子どもに与える影響を理解する (4h)						
13	子育てアラカルト④ 手作りおもちゃの楽しみ方 身近な材料を利用したおもちゃの制作をする [課題(復習)] 発達に即したおもちゃの与え方や楽しみ方の情報を収集する (4h)						
14	子育てアラカルト⑤ 食育・自然体験について [課題(復習)] 食育や自然体験の情報を収集したり、幼少期の体験を振り返りまとめる (4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
15	まとめ 子育て・子育ての振り返りと今後の課題について [課題(復習)] 授業で学んだ全体の内容について振り返り、総合的なまとめを行う 「子育て」「子育て」についての自身の考えをまとめる (4h)
時間外での学修	学んだ内容について、子育て事例や自身の幼少期の体験を振り返りながら、子育ての大切さや楽しさを感じていきましょう。【この科目で求める望ましい授業外での学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	子育てについてのアラカルトを紐解きながら、子どもの発達の理解や接し方などを学び、子育てに喜びや楽しみが持てる基本的資質の滋養を目指していきましょう。 オフィスアワーは、非常勤控室にて授業日の12時45分～14時15分です。どんなことも気軽に尋ねてください。

【9L4L102】音楽療法入門		教養科目		1年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	菅田 文子						
資格・制限等	特になし						
授業内容	音楽療法とは何かについて、音楽療法の歴史を踏まえながら現在行われている音楽の療法的活用について学ぶ。実際の音楽活動も授業内に取り入れ、音楽が人の心と身体にどのように作用するか体験する。						
実務家教員	音楽療法関連公的機関勤務5年						
授業方法	講義と簡単な演習、音楽療法の実践現場のDVDやCDの視聴も授業内で行う。						
到達目標	知識・理解	音楽療法について基礎的な知識を得ている。			◎		
	思考・判断・表現	高齢者、児童、成人を対象とした音楽療法について、どのような働きかけが適当か判断、表現することができる。			◎		
	技能	音楽療法の目的について例を挙げて述べることができる。			○		
	関心・意欲・態度	音楽の療法的な用いられかたについて関心や意欲をもち学修に取り組むことができる。			△		
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	15	15	-	60
	課題提出		-	20	10	10	40
	合計(点)		30	35	25	10	100
評価の特記事項	授業回数の1/3以上欠席した学生は単位修得資格がありません。レポート課題の提出がない学生は筆記試験の受験資格がありません。						
I C T活用	課題や授業の感想をGoogle Formで提出してもらいます。						
課題に対するフィードバック	学生ポータルやGoogleFormなどを活用して学生と意見交換を行います。						
テキスト	『補完・代替医療音楽療法 第3版』高橋多喜子 金芳堂(2,310円)ISBN:978-4-7653-1708-5						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	音楽療法の定義1：聴取型音楽療法と能動的音楽療法の違い、能動的音楽療法の種類について [課題（復習）][課題（復習）]授業時に提示される1回目の課題に取り組む（4h）						
2	音楽療法の定義2：聴取型音楽療法について 一般的な知識と科学的根拠について [課題（復習）][課題（復習）]授業時に提示される2 回目の課題に取り組む（4h）						
3	音楽療法の歴史：原始時代、古代、中世から近代までの音楽と医療の関わりについて [課題（復習）][課題（復習）]授業時に提示される3回目の課題に取り組む（4h）						
4	高齢者の音楽療法1：認知症の種類、音楽活動について [課題（復習）]戦時中の音楽について動画サイトで視聴しまとめる（4h）						
5	高齢者の音楽療法2：介護予防と音楽療法 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、昔やったことのある手遊びについてまとめる（4h）						
6	高齢者の音楽療法3：日本歌謡史となじみの歌 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、自分の親世代、祖父母世代のなじみの歌についてまとめる（4h）						
7	音楽療法の作業手順、なじみの歌法について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、自分にとってのなじみの歌を考える（4h）						
8	医療現場の音楽療法1：ホスピス、緩和ケアの音楽療法 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、自らの死生観について考えをまとめる（4h）						
9	児童分野の音楽療法1：検診について、障害を持つ子どもの療育について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、子どもの音楽遊び活動について例をまとめる（4h）						
10	児童分野の音楽療法2：自閉性スペクトラム障害について、心の理論について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、自閉性スペクトラム障害の著名人についてまとめる（4h）						
11	児童分野の音楽療法3：不登校とカウンセリング [課題（復習）]学んだ内容を復習し、学校に行きたくなるということについて自分の考えをまとめる（4h）						
12	精神障害と音楽療法：統合失調症について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、心理社会的治療についてまとめる（4h）						
13	医療現場の音楽療法2：疼痛緩和と音楽療法 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、リラクゼーション音楽について調べる（4h）						
14	医療現場の音楽療法3：昏睡患者、NICUにおける音楽療法 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、低出生体重児への歌いかけに適した曲について例を挙げてまとめる（4h）						
15	さまざまな現場の音楽療法：教育、福祉、地域における音楽療法 筆記試験 [課題（復習）]学んだ内容を復習する（4h）						
時間外での学修	学んだ内容について、自分の知っている曲や活動であてはまるものがあるかを常に考えて記録するようにしましょう。【この科目で求める望ましい授業外の総学習時間：60時間】						
受講学生へのメッセージ	楽器を演奏する体験、立ちあがって動く体験などが授業に含まれます。積極的に参加してください。オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週木曜日の13:00～14:30です。						



【9L4L103】美術入門		教養科目		1年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	竹村 朋子					
資格・制限等	歯科は選択必修					
授業内容	西洋美術の通史において各時代様式を取りあげ、その代表する芸術作品を紹介しながら「見る」こととは何かを考えます。					
実務家教員						
授業方法	プリント、映像資料を用いた講義形式の授業					
到達目標	知識・理解	通史に沿って授業を行い、西洋美術を理解するための必要な知識を身につける			◎	
	思考・判断・表現	西洋美術作品をその歴史的制作背景等も含め深く理解できる			◎	
	関心・意欲・態度	授業の中でいくつかの作品をピックアップして紹介し、詳細な観察及び分析を行うが、それについて疑問・感想を自分の言葉で表現することができる			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	50	30	-	-	80
	コメントペーパー	-	-	-	10	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	50	30	-	20	100
評価の特記事項	5回以上欠席した場合、筆記試験資格はありません。					
I C T活用	基本的には対面授業のみで行いますが、場合によってzoom等を用いた遠隔授業の可能性もあります。					
課題に対するフィードバック	毎回授業後に提出してもらうコメントペーパーの質問等に次の授業時、解説をします。					
テキスト						
参考書・教材	プリント・資料は授業時に適宜配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス・イントロダクション 授業の流れを説明する [課題(復習)]プリントや高校以前の美術の教科書などを参考に、美術史の流れを復習しておく(4h)					
2	ギリシア美術・ローマ美術 ギリシア・ローマ美術の特徴を彫刻や壁画から理解する [課題(復習)]ギリシア・ローマ美術の復習(4h)					
3	中世美術1(初期キリスト教美術・ビザンティン美術) キリスト教が美術作品に与えた影響を学ぶ [課題(復習)]中世美術1の復習(4h)					
4	中世美術2(期中世美術・ロマネスク美術) さらに広がるキリスト教美術の影響を美術作品や建築物から理解する [課題(復習)]中世美術2の復習(4h)					
5	中世美術3(ゴシック美術) 教会堂建築及び教会堂扉口彫刻から当時の思想を読み解く [課題(復習)]第5回までの授業の復習プリント(4h)					
6	イタリア初期ルネサンス美術 マザッチョ、フラ・アンジェリコなどの作品を取り上げ、その特徴を理解する [課題(復習)]イタリア初期ルネサンス美術の復習(4h)					
7	イタリア盛期ルネサンス美術1 ルネサンス期の頂点を極めるこの時代を、ダ・ヴィンチの作品を中心に取り上げ、理解を深める [課題(復習)]イタリア盛期ルネサンス美術の復習(4h)					
8	イタリア盛期ルネサンス美術2 前週に引き続き、盛期ルネサンスにおいて重要な役割を果たしたラファエロ、ミケランジェロの作品を取り上げ、ルネサンス美術について総括する [課題(復習)]イタリア盛期ルネサンス美術の復習(4h)					
9	マニエリスム エル・グレコなどの作品から、マニエリスムの特徴を理解する [課題(復習)]マニエリスムの復習(4h)					
10	北方美術(ファン・エイクなど) ファン・エイクなどの作品から、ルネサンス美術とは異なる北方美術の特性を観察する [課題(復習)]第6回から10回までの授業内容の復習プリント(4h)					
11	バロック美術1(カラヴァッジョ、ベラスケスなど) ヨーロッパ各地に広まったバロック美術について、イタリア、スペインの代表的な画家であるカラヴァッジョやベラスケスの作品を取り上げ、その様式の特徴と作品の特性について理解する [課題(復習)]バロック美術1の復習(4h)					
12	バロック美術2(レンブラントなど) 前週に引き続き、バロック美術について学修し、その中でもレンブラントを中心に上げる [課題(復習)]バロック美術2の復習(4h)					
13	ロココ美術 ロココ美術では、ヴァトーとフラゴナールの作品を取り上げ、その主題や様式の特性を理解する [課題(復習)]ロココ美術の復習(4h)					
14	近代美術1(新古典主義・ロマン主義など) めまぐるしく変化する時代の中で生まれた近代美術について、新古典主義、ロマン主義の作品を見ていく [課題(復習)]近代美術の復習(4h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
15	近代美術2(写実主義・印象派など) 前週に引き続き、近代美術として、写実主義、印象派の作品を扱う。産業革命などの技術的革新が芸術作品に及ぼした影響を踏まえて作品を理解する 【課題(復習)】第11回から15回までの復習プリント(4h)
時間外での学修	美術に関する本なども読んでみましょう。 また、興味をもった展覧会などにも足を運び、実際に作品を鑑賞することも大事です。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	絵画でも彫刻でも身の回りにあるものなど興味のあるものを注意深く観察してみましょう。それによって美術史への理解が深まるのです。 オフィスアワーは水曜日の12時10分～13時です。(講義室あるいは非常勤講師控室にあります。)

【9L4L204】スポーツ演習 I (デ音歯)		教養科目		1年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	垣添 忠厚						
資格・制限等	特になし						
授業内容	楽しみながらできるエクササイズ（トレーニング）や体を動かすレクリエーション（ゲーム・ニュースポーツ）を通して、仲間とのコミュニケーション力を高めるとともに、適度な運動量を確保した健康づくりに取り組みます。自身の体力の状態を把握し、健康のための自己課題を理解し、健康的な生活習慣の確立をねらいます。また、仲間と楽しく活動に取り組むことを大切に、心と体の元気づくりを目指します。						
実務家教員							
授業方法	この授業は、実技中心の個人やグループでの演習になります。第8・15回は実技試験（バドミントン・体力測定）となります。この授業は実技中心の取り組みになります。						
到達目標	知識・理解	ゲームやニュースポーツ等のルールや特徴、仲間づくりの要素を理解し、レクリエーションにと取り組むことができる。	○				
	思考・判断・表現	健康的な生活習慣を確立させるための、ゲームやニュースポーツの日常生活での活用について考えることができる。	○				
	技能	ゲームやニュースポーツの楽しさを十分に体験し、自分の持っている運動機能を発揮することができる。	◎				
	関心・意欲・態度	自分の体について興味関心を持ち、自己課題をもって積極的にゲームやニュースポーツに参加することができる。	○				
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート（毎回）		20	10	-	-	30
	実技試験（2回）		-	5	20	-	25
	自己評価（毎回）		-	10	-	10	20
	授業態度・様相		-	-	10	15	25
合計(点)		20	25	30	25	100	
評価の特記事項	実技試験は、ダンス（課題曲）と体力測定とし授業内で実施します。						
ICT活用	オープンな教育リソース（動画教材等）を活用して、ゲームのルールや動作の手本が理解しやすいようにします。						
課題に対するフィードバック	レポートの内容をまとめ、次の授業内で共有します。						
テキスト							
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス（授業内容の説明）・レクリエーションを通じた仲間づくり [課題（復習）]授業計画を把握し、個人の健康課題を作成する。（1h～2h）						
2	準備運動およびエクササイズ（ストレッチ）・アイスブレイキング（子どもの頃の遊び） [課題（復習）]準備運動として取り組むミナモ体操を練習し覚える。（1h～2h）						
3	準備運動およびエクササイズ（ウォーキング）・アイスブレイキング（ジャンケンゲーム） [課題（復習）]日常生活でのエクササイズの活用について考える。（1h～2h）						
4	準備運動およびエクササイズ（リズムダンス）・アイスブレイキング（反応ゲーム） [課題（復習）]3曲のダンス課題から1曲を選び定期的に練習する。（1h～2h）						
5	準備運動およびエクササイズ（リズムダンス）・アイスブレイキング（新聞紙を使ったゲーム） [課題（復習）]仲間づくりの要素を、レポートにまとめる。（1h～2h）						
6	準備運動およびエクササイズ（体幹トレーニング）、ニュースポーツ（ドッジビー）体験 [課題（復習）]取り組んだニュースポーツの特徴と楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）						
7	準備運動およびエクササイズ（体幹トレーニング）、ニュースポーツ（フライングディスク）体験 [課題（復習）]取り組んだニュースポーツの特徴と楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）						
8	準備体操、体力測定（実技試験） [課題（復習）]自分の体力の状態を分析し、自己の生活習慣の見直しをレポートにまとめる。（1h～2h）						
9	準備体操、ニュースポーツ（スポーツテンカ）体験 [課題（復習）]インディアカの特徴と楽しみ方について、レポートにまとめる。（1h～2h）						
10	準備運動、ニュースポーツ（インディアカ）体験 [課題（復習）]インディアカの特徴と楽しみ方について、レポートにまとめる。（1h～2h）						
11	準備運動、ニュースポーツ（キンボール）のルールの理解と練習試合 [課題（復習）]キンボールの特徴と楽しみ方について、レポートにまとめる。（1h～2h）						
12	準備運動、ニュースポーツ（キンボール）の試合 [課題（復習）]試合を振り返り自己評価をまとめる。（1h～2h）						
13	準備運動、ニュースポーツ（ニチレクボールまたはボッチャ）体験 [課題（復習）]体験したニュースポーツの特徴や楽しみ方をレポートにまとめる。（1h～2h）						
14	脳トレと体づくり（コグニティブトレーニング） [課題（復習）]丈夫な体づくりのための日常的に取り組む運動課題を決める。（1h～2h）						
15	ダンス（実技試験）・アイスブレイキング（作って遊ぼう）・まとめ [課題（復習）]科目で学んだことから、自己の健康課題と今後の取り組みについてまとめる。（1h～2h）						
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】						
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう意欲的に取り組んでください。安全には十分に注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。						

【9L4L205】スポーツ演習Ⅱ(デブ歯)		教養科目		1年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	垣添 忠厚					
資格・制限等	特になし					
授業内容	親しみやすいエクササイズやスポーツを通して、集団意識と協調性を高めながら健康的な体づくりのために基礎体力の向上を目指し学修します。楽しみながらスポーツに取り組むことで、日常生活における主体的な運動機会につなげ、健康的な生活習慣を確立させることがねらいです。					
実務家教員						
授業方法	受講生同士の交流を深めるために、決められたグループで活動することがあります。第8回は実技試験(体力測定・記録会)となります。15回全て実技となります。受講人数により、内容が変更される場合があります。					
到達目標	知識・理解	レクリエーションゲームやスポーツのルールや特徴を理解することができる。			○	
	思考・判断・表現	ゲームやスポーツを楽しみながら取り組むための要素を考えることができる。			○	
	技能	スポーツやゲームのおもしろさを十分に体験し、各種ゲームを通じて仲間と協力しながら体力や技能の向上を目指すことができる。			◎	
	関心・意欲・態度	自分の体についてよく理解し、興味関心を持ち、健康的な生活習慣を確立させるよう積極的に運動やスポーツに関わることができる。			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	受講態度・様相	-	-	10	20	30
	実技試験(1回)	-	-	10	-	10
	レポート(毎回)	20	10	-	10	40
	自己評価(毎回)	-	10	10	-	20
合計(点)	20	20	30	30	100	
評価の特記事項						
ICT活用	オープンな教育リソースを活用して、スポーツのルールや特徴を理解します。					
課題に対するフィードバック	毎時のレポートから見本となるコメントを共有します。					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス(授業内容の説明)、準備運動、アイスブレイキング、ドッジボール [課題(復習)]授業内容を把握する。(1h~2h)					
2	エクササイズ、アイスブレイキング1、仲間づくりのゲーム [課題(予習)]仲間づくりに必要な要素をレポートにまとめる。(1h~2h)					
3	エクササイズ、アイスブレイキング2、レクリエーションゲーム [課題(復習)]レクリエーションゲームを振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。(1h~2h)					
4	エクササイズ、ソフトバレーボール(練習・練習試合) [課題(予習)]ソフトバレーボールのルールを理解し、作戦をレポートにまとめる。(1h~2h)					
5	エクササイズ、ソフトバレーボール(試合) [課題(復習)]ソフトバレーボールの試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。(1h~2h)					
6	エクササイズ、バスケットボール(練習・練習試合) [課題(予習)]バスケットボールのルールを理解し、作戦をレポートにまとめる。(1h~2h)					
7	エクササイズ、バスケットボール(試合) [課題(復習)]バスケットボールの試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。(1h~2h)					
8	体力測定(実技試験) [課題(復習)]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h~2h)					
9	エクササイズ、キンボール(ルール理解・練習試合) [課題(復習)]キンボールの特徴を理解し、作戦を立てる。(1h~2h)					
10	エクササイズ、キンボール(試合) [課題(復習)]キンボールの試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。(1h~2h)					
11	エクササイズ、卓球(ルール理解・練習試合) [課題(復習)]卓球の特徴を理解し、作戦をレポートにまとめる。(1h~2h)					
12	エクササイズ、卓球(ルール理解・練習試合) [課題(復習)]卓球の試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。(1h~2h)					
13	エクササイズ、バドミントン(ルール理解・練習試合) [課題(復習)]バドミントンの特徴を理解し、作戦をレポートにまとめる。(1h~2h)					
14	エクササイズ、バドミントン(試合) [課題(復習)]バドミントンの試合を振り返り、成果と課題をレポートにまとめる。(1h~2h)					
15	スポーツ交流会・まとめ [課題(復習)]今後の自己の健康づくりについて、レポートにまとめる。(1h~2h)					
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】					
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう意欲的に取り組んでください。安全には十分注意し、運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。オフィスアワーは研究室(H203:H号館)で毎週金曜日の12:15~12:45です。					

【9L4L306】 体育 I (幼児教育学科)		教養科目		1年前期		
		1単位	必修	実技	45時間	
教員	垣添 忠厚					
資格・制限等	特になし					
授業内容	第1回～第15回の授業では、親しみやすいスポーツとして「ニュースポーツ」を中心に基礎体力づくりを目指し実施します。定期的に運動を行うことで健康的な生活習慣の確立を目指します。16回は体力測定を行います。17～22回の授業では、コミュニケーションを図りながら集団意識を高めるために創作ダンスを実施します。仲間意識を大切にし、一つの作品を完成させて発表することがねらいです。					
実務家教員						
授業方法	第1回～15回の授業は、当日の種目をグループまたは個人で実施します。種目によって競技に発展することがあります。第16回の体力測定は、幼児の体力測定の方法を学びながら実際に測定を行います。第17回～22回の授業は、ダンスの基本的な動きを習得し、グループに分かれて創作ダンスを完成させます。					
到達目標	知識・理解	体力づくりを心がけ、体育のおもしろさを十分に体験することができる。			◎	
	思考・判断・表現	集団活動のなかで自分の役割を把握し、集団意識を高めながらスポーツに参加することができる			○	
	技能	創作ダンスについて理解し、テーマに沿った創作ダンスの発表ができる。			○	
	関心・意欲・態度	自己の体力について知ること、生活スタイルの気づきや見直しができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	レポート(毎回)	35	-	-	-	35
	自己評価(毎回)	-	20	-	-	20
	実技(1回)・発表(1回)	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	25	25
合計(点)	35	20	20	25	100	
評価の特記事項						
ICT活用	オンデマンド教材等によりゲーム等の理解のための視覚支援教材として活用します。					
課題に対するフィードバック	毎回のレポート提出の内容をまとめ、次の授業の中で学修成果を共有します。					
テキスト						
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼児体育、必要に応じて資料を配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション(授業内容の説明)・健康のための運動の役割、ストレッチ [課題(復習)]健康のための運動の大切さを理解し、運動習慣としての運動計画を立てる。(1h～2h)					
2	準備運動：ミナモ体操、ミナモダンスを覚える。 [課題(復習)]継続的にミナモ体操、ミナモダンスを練習する。(1h～2h)					
3	アイスブレイキング1：集団のコミュニケーションを図るレクリエーションを実践しグループの親睦を図る。 [課題(復習)]集団のコミュニケーションで大切な要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
4	アイスブレイキング2：準備運動として有効なレクリエーションを実践し怪我のない体力づくりを図る。 [課題(復習)]主体的に準備運動に取り組めるレクリエーションについてレポートにまとめる。(1h～2h)					
5	アイスブレイキング3：表現力を高めるレクリエーションを実践し、主体的に活動しやすい雰囲気をつくる。 [課題(復習)]信頼づくりのための表現についてレポートにまとめる					
6	インディアカ(チーム編成・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]インディアカのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
7	インディアカ(試合)：チームで練習した後、試合をする。 [課題(復習)]インディアカのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
8	ソフトバレーボール(ルール確認・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]ソフトバレーボールのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
9	ソフトバレーボール(試合)：各チームで審判、対戦の手順を確認しゲームを行う。 [課題(復習)]ソフトバレーボールのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
10	バスケットボール(ルール確認・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]バスケットボールのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。					
11	バスケットボール(試合)：各チームで審判、対戦の手順を確認しゲームを行う。 [課題(復習)]バスケットボールのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
12	バドミントン(ルール確認・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]バドミントンのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
13	バドミントン(試合)：各チームで審判、対戦の手順を確認しゲームを行う。 [課題(復習)]バドミントンのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
14	キンボール(ルール確認・練習)：ゲームの流れを理解し、チームで練習した後、練習試合をする。 [課題(復習)]キンボールのゲームの特徴を振り返り、レポートにまとめる。(1h～2h)					
15	キンボール(試合)：各チームで審判、対戦の手順を確認しゲームを行う。 [課題(復習)]キンボールのゲームを楽しく展開するための要素をレポートにまとめる。(1h～2h)					
16	体力測定：幼児向けの体力測定の方法を知り実践する。 [課題(復習)]自分の体力について知り、生活習慣の見直しをする。(1h～2h)					
17	創作ダンス1(グループワーク)：創作ダンスの制作手順を確認し、テーマとストーリーを話し合う。 [課題(復習)]創作ダンスのイメージをつかみ、テーマとストーリーを表現する楽曲の候補案を探す。(1h～2h)					
18	創作ダンス2(グループワーク)：テーマとストーリーを決め楽曲を選曲し、今後の練習計画を立てる。 [課題(復習)]楽曲に応じた振り付けパターンを考える。(1h～2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
19	創作ダンス3（グループワーク）：振付の構成を決め、ダンスの一連の流れを完成させる。 [課題（予習）]ダンスに取り入れる振付の案を考える。（1h～2h）
20	創作ダンス4（グループワーク）：フォーメーションの構成を仕上げる。 [課題（復習）]発表に向けて練習をする。（1h～2h）
21	創作ダンス5（グループワーク）：構成を見直し仕上げ、発表に向け練習する。 [課題（予習）]発表の最終確認をし、準備する。（1h～2h）
22	創作ダンス6（発表）：舞台発表を行い互いに評価する。 [課題（復習）]発表を振り返り、レポートにまとめる。（1h～2h）
時間外での学修	毎時間の授業内容を把握し、体調管理に気を配る生活を心がけてください。 また、発表に向けてグループ練習を積極的に実施してください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：45時間】
受講学生へのメッセージ	スポーツのおもしろさや達成感を十分に体験できるよう意欲的に取り組んでください。安全には十分注意（熱中症対策は各自準備すること）してください。運動のできる服装と体育館シューズを必ず着用してください。 オフィスアワーは研究室（H203：H号館）で毎週金曜日の12：15～12：45です。

【9L4L107】 体育Ⅱ (幼児教育学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	講義	15時間		
教員	垣添 忠厚						
資格・制限等	特になし						
授業内容	健康は、充実した生活を送るために不可欠となる要因のひとつです。より良い健康的な生活を送るために、自分自身の生活習慣を見直し、健康について基礎知識を身につけます。						
実務家教員							
授業方法	全て講義となります。図書館等を利用し各自のテーマに合わせて、調査・追求したことをまとめて発表します。						
到達目標	知識・理解	健康について理解し発表することができる。			◎		
	思考・判断・表現	課題を作成し、提出することができる。			◎		
	技能	自分自身のライフスタイルの見直しができる。			○		
	関心・意欲・態度	計画的に学修する姿勢がみられる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	レポート(毎回)		30	-	-	-	30
	提出物		-	30	-	-	30
	発表(1回)		-	-	10	-	10
	小テスト(1回)		-	-	10	-	10
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		30	30	20	20	100	
評価の特記事項							
I C T活用	インターネットを活用した調査を行います。						
課題に対するフィードバック	自己課題の発表を行い、互いに評価します。						
テキスト							
参考書・教材	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針、幼児体育資料は、必要に応じて配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、ライフスタイルの見直し [課題(復習)]ライフスタイルについて見直したことをまとめ、今後の計画をする。(4h~6h)						
2	テーマについて(発表の計画) [課題(復習)]テーマについて理解し発表に向けた計画をまとめる。(4h~6h)						
3	発表準備1(テーマに沿った内容を調べ、発表に向けた準備をする) [課題(復習)]生活習慣について見直し、生活リズムの改善を試みる。(4h~6h)						
4	発表準備2(調べた内容から具体的なテーマを決め、提案内容をさらに調べ整理する。) [課題(復習)]日々の生活の中で正しい姿勢を心がける。(4h~6h)						
5	発表準備確認1(発表に向けた内容をまとめ、確認する) [課題(復習)]本時の内容についてノートにまとめる。(4h~6h)						
6	発表準備確認2(確認した内容をポスターにし、発表の段取りをする) [課題(復習)]発表の段取りをまとめる。(4h~6h)						
7	ポスター発表 [課題(復習)]課題提出に向けてノートをまとめる。(4h~6h)						
8	ポスター発表及び小テスト [課題(復習)]発表の振り返りと課題提出に向けてノートをまとめる。(4h~6h)						
時間外での学修	運動と健康の大切さを意識し、自分の生活スタイルの見直しに心がけてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】						
受講学生へのメッセージ	毎時間の授業の中でメモを取ることを忘れず、自分の生活スタイルに役立てるよう集中して受講してください。 オフィスアワーは研究室(H203:H号館)で毎週金曜日の12:15~12:45です。						

【9L5L201】情報科学		教養科目		1年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	伊藤 和典						
資格・制限等	幼教は卒業必修						
授業内容	膨大な量の情報が行き交う現代社会において、私たちはその情報を必要に応じて、検索・整理・編集し、有効に活用する能力が求められています。本学での学修や就職後の仕事の中で、情報技術を活用するための基礎的な知識と技術の習得を目標とします。その基礎としてWord・Excel・PowerPointの基本的な機能を理解して、文書作成や表計算機能を生かした処理、簡単なプレゼンテーションができることを目的として、演習を交えて学修をすすめていきます。また、情報セキュリティやネットワークの概要を正しく理解し、適切な情報活用能力を身につけるための事項についても学修します。						
実務家教員	小中学校教員37年						
授業方法	講義及びパソコン演習						
到達目標	知識・理解	コンピュータの基本的操作ができる。Word, Excel及びPowerpointの基本的な操作ができる。 情報セキュリティ・ネットワーク概要について理解できる。			○		
	思考・判断・表現	Word：目的に応じたわかりやすく整った文書が作成できる。 Excel：書式の設定、基本的な式や関数の使用、効果的なグラフの選択・作成ができる。 PowerPoint：目的に応じた簡単なプレゼンテーション資料の作成ができる。			◎		
	技能	Word：指定された文書を素早く作成できる。レイアウトを考えて実用的な文書が作成できる。 Excel：示された課題を素早く正確に作成できる。 Powerpoint：指定された課題にあったプレゼンテーション資料が作成できる。			◎		
	関心・意欲・態度	意欲的に課題・演習に取り組むことができる。 コンピュータ操作、Word、Excel、PowerPoint等の操作を進んで取得しようとする。 授業中に完成できなかった練習問題及び宿題は次週までに仕上げようとする。			○		
	備考	◎・○・△の記号は教養科目のDP及び到達目標との結びつきの強さを示します。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験・情報セキュリティ含		20	-	-	-	20
	Word課題・提出		-	10	10	-	20
	Excel課題・提出		-	10	10	-	20
	Powerpoint課題・提出		-	10	10	-	20
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		20	30	30	20	100	
評価の特記事項	Word課題提出：第6回に実施 Excel課題提出：第10回に実施 Powerpoint課題提出：第14回に実施 筆記試験：定期試験期間に実施 受講態度：毎回						
ICT活用	講義資料をプロジェクタ投影し、解説を加えながら演習が展開できるようにします。授業後には、メールでの質問にも応えます。						
課題に対するフィードバック	提出課題には、コメントを入れ返却します。						
テキスト	『情報リテラシー（入門編）』FOM出版株式会社(1,100円)ISBN:978-4-86510-416-5						
参考書・教材	USBフラッシュメモリーを各自準備してください。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業ガイダンス：(テキストS-1～S19) 学内PC及びネットワーク利用上の留意点、Windowsの基本操作、マウス操作とタッチ操作等の基礎的内容を理解し、正しく使えるようになる。[課題(復習)]学んだ内容を復習・確認し、パソコン、ネットワークを正しく使えるようになる。(1h)						
2	ネット社会の情報の安全な使い方①：(テキストM-1～M-16) 情報化社会のモラルとセキュリティ、個人情報の適切な取り扱いについて理解する。[課題(復習)]情報モラル、セキュリティ、個人情報の扱いについて正しく理解する。(1h)						
3	Wordの学習①：(テキストW-1～W-17) Wordの画面構成や用語、基本操作(簡単な文書作成、保存)について学ぶ。キーボード操作(ローマ字入力、日本語変換)が正しくできる。[課題(復習)]Wordの基本操作、キーボード操作がスムーズにできるようにする。(2h)						
4	Wordの学習②：(テキストW-5～W-17) ページ設定、文書の修飾(フォント、下線、網かけ、レイアウト、等々)機能を活用して文書作成ができる。[課題(復習)]Wordの基本操作、編集機能(フォント、レイアウト)を復習する。(2h)						
5	Wordの学習③：(テキストW-18～W-35) 文書の修飾(クリップアート、ワードアート、図・画像の挿入、ページ野線)機能を活用して文書作成ができる。[課題(復習)]編集機能(クリップアート、図の挿入等)を復習する。(2h)						
6	Wordの学習④：(テキストW-36～W-41) やや高度な文書加工(ページ番号、ヘッダー・フッター、段落、文字列の検索・置換)機能を活用して文書作成する。【課題提出】 [課題(復習)]学修した様々な編集機能を復習する。(2h)						
7	Excelの学習①：(テキストE-1～E-8) Excelの画面構成や用語、基本操作(データの入力、修正・消去、ブックの保存)について学ぶ。[課題(復習)]Excelの基本操作、データ入力ができる。(1h)						
8	Excelの学習②：(テキストE-9～E-17) 表(数表)の作成(関数の取り扱い、文字の修飾、行・列の加工、等々)ができる。[課題(復習)]Excelの基本入力ができ、書式を整えた表の作成ができる。(1h)						
9	Excelの学習③：(テキストE-18～E-35) 入力データ処理をもとに目的にあるグラフ作成ができる。[課題(復習)]Excelのグラフ機能を使ってグラフが作成できる。(2h)						
10	Excelの学習④：(テキストE-36～E-50) 応用的なデータ処理(グラフ作成、簡単なデータベース、フィルタ機能)ができる。【課題提出】 [課題(復習)]Excelの様々な機能を使うことができる。(2h)						
11	ネット社会の情報の安全な使い方②：(テキストM-17～M-38) デジタル時代の著作権、ネット社会に潜む危険と対策 [課題(復習)]著作権(引用、出典の扱いを含む)とネット社会のウイルス対策、IDとパスワード管理について事例を通して理解する。(2h)						



内容	
実施回	授業内容・目標
12	PowerPointの学習①：(テキストP-1～P-13) スライド作成の基本(文字入力、スライドの挿入・削除・置換)について学び、スライド作成ができる。[課題(復習)]Powerpointの基本を理解し、数枚のスライド作成ができる。(2h)
13	PowerPointの学習②：(テキストP-14～P-38) スライド作成の応用(図表・画像の挿入、アニメーション効果)について学び、効果的なアニメーションを使って、相手にわかりやすいスライドの作成ができる。[課題(復習)]Powerpointの様々な効果を使って、相手に伝わるスライドの作成ができるようにする。(2h)
14	PowerPointの学習③： プレゼンテーション作品交流：グループごとに作品交流を良い点、改善点を意見交流する。【課題提出】[課題(復習)]プレゼンテーション作品を振り返り、よりよい作品づくりへの改善点を考える。(1h)
15	全体のまとめ Word、Excel、Powerpointのまとめの課題ができる。学修を終えて、自身の学びを振り返りまとめる。[課題(復習)]まとめの課題が完成できなかったものを完成させる。(2h)
時間外での学修	授業時間内にできなかった課題、練習問題等は次の時間までに仕上げておくようにしてください。復習をして、次の授業で遅れを出さないように心がけましょう。欠席した場合は、シラバスを参考に授業内容を確認し、自習してください。学内・自宅で空き時間を見つけて積極的にパソコンを使用し、基本的な技能をマスターしましょう。キーボード入力が苦手な人は、進んでタイピング練習をしましょう。 【この科目で求める望ましい授業がいでの総学修時間25時間】
受講学生へのメッセージ	演習課題には積極的に取り組みましょう。私語・私事は厳禁です。オフィスアワーは授業後のパソコン教室で行います。

【9L5L202】情報活用		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	伊藤 和典						
資格・制限等	幼教は卒業必修						
授業内容	前期『情報科学』で学修した基礎から一歩進んで、実用的なパソコン活用の方法と技術を学びます。文書作成や表計算、プレゼンテーションの発展的スキルを身につけることを目的として、演習を交えて学修をすすめていきます。特に、情報化が進む社会でのプレゼンテーション能力を重視し、グループワークを交えて効果的な資料の作成方法と発表の仕方(コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の育成)について学びます。また、『情報科学』に引き続き、情報セキュリティや情報モラルについて正しく理解し、情報化社会に対応できる能力を身につけていきます。						
実務家教員	小中学校教員37年						
授業方法	講義およびパソコン演習に加え、グループワークを取り入れた協働制作によるプレゼンテーション資料づくりをして発表交流を実施します。						
到達目標	知識・理解	情報活用やそのための情報機器に関する基本的な知識を身につけることができる。情報セキュリティ及びネット社会への対応について理解する。			○		
	思考・判断・表現	情報を活用することを通して、専門分野と関連する基本的な思考力や判断力、表現力を身につけることができる。インターネットを利用する上で、正しい判断をして社会人としてのマナーを守ることができる。			◎		
	技能	アプリケーションソフトの特徴を生かして、応用活用できる技能を身につけることができる。情報機器を活用して課題・資料を作成することができる。			◎		
	関心・意欲・態度	情報活用について興味や関心を持ち、意欲的に課題・演習に取り組むことができる。将来の社会的役割と結びつけながら活用する努力や工夫をして、学修に取り組むことができる。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		10	-	10	-	20
	課題制作		10	10	10	10	40
	制作物発表		-	20	10	-	30
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		20	30	30	20	100	
評価の特記事項	Word課題提出：第5回に実施 筆記試験：定期試験期間に実施		Excel課題提出：第8回に実施 受講態度：毎回		Powerpoint課題提出：第12回に実施		
ICT活用	講義資料をプロジェクタ投影し、解説を加えながら演習が展開できるようにします。授業後には、メールでの質問に応えます。						
課題に対するフィードバック	提出課題には、コメントを入れ返却します。						
テキスト	必要な資料は配付しますが、前期(情報科学)で使用したものを一部使用します。『情報リテラシー(入門編)』FOM出版株式会社(1,100円) ISBN:978-4-86510-416-5						
参考書・教材	データ保存用に前期で使用したUSBフラッシュメモリーを用意してください。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業ガイダンス：この授業の目標と内容、学び方を理解し、コンピュータについての基本的知識と技能を確認する。【課題(復習)】情報科学で学んだ基本的知識や技能を復習する。(1h)						
2	ネット社会の情報の安全な使い方①：(テキストM-39～M-46)メールによるコミュニケーションの留意点、情報の信ぴょう性の見極め方について理解する。【課題(復習)】情報モラル、メールでのコミュニケーション、情報の信ぴょう性の見極め方について正しく理解する。(1h)						
3	Wordの学習①：Wordの書式設定(強制改頁、途中段組み)や印刷機能(差し込み印刷)について学ぶ。【課題(復習)】Wordの拡張的な活用方法について理解する。(1h)						
4	Wordの学習②：WordとExcelを効率良く活用する方法について学び、Wordで作成する案内文書をExcelで作成する。印刷の違いを理解し、入力時の工夫改善ができるようにする。【課題(復習)】Excelの印刷時の留意点について理解する。(2h)						
5	Wordの学習③：(テキストW-54～W-58)選択課題から取り組める課題を決定し、これまでに習得した技能を生かして課題にそった文書作成をする。【課題提出】【課題(復習)】Wordの様々な機能を活用して、効果的な文書を作成する。授業時間内に完成しなかった場合は、持ち帰って完成する。(2h)						
6	Excelの学習①：基本的な関数(合計、平均、カウント、相対参照と絶対参照、小数点操作等)を用いてのデータ処理やグラフ作成機能を使ってのデータ処理ができる。【課題(復習)】Excelの基本的な関数機能を使うことができるようにする。(2h)						
7	Excelの学習②：データベース機能と関数を取り入れた表(数表)の作成と印刷、マクロ印刷の方法を理解し操作できる。【課題(復習)】Excelの様々な機能を使うことができるようにする。(2h)						
8	Excelの学習③：(テキストE-51～E-55)より高度なデータ処理(複数シートの操作、条件付け・順位付け)ができる。【課題提出】【課題(復習)】Excelの様々な機能を活用して、課題に取り組むことができる。授業時間内に完成しなかった場合は、持ち帰って完成する。(2h)						
9	ネット社会の情報の安全な使い方②：(テキストM-47～M-73)SNSでの情報発信、Web上のコミュニケーションのあり方、モバイル機器の活用と管理について学ぶ。【課題(復習)】情報モラル、SNS等Web上のコミュニケーションのあり方、モバイル機器の活用と管理について正しく理解する。(1h)						
10	プレゼンテーション資料の作成① 実社会での活用をイメージし、テーマを選択して、Wordで制作計画をたてる。Powerpointで資料作成をはじめ。【課題(復習・準備)】自己のテーマを決定して、計画を完成させる。(2h)						
11	プレゼンテーション資料の作成② 【課題(復習)】情報モラル、SNS等Web上のコミュニケーションのあり方、モバイル機器の活用と管理について正しく理解する。(2h)						
12	プレゼンテーション資料の作成③ 作成したプレゼンテーション資料をもとに、グループごとに意見交流を行い、良い点、改善点を洗い出し、作品を改善する。【課題提出】【課題(復習・予習)】作成した作品をよりよいものにするために改善し、発表の準備をする。(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
13	プレゼンテーション資料の作成④ グループ内で完成した作品発表を交流し、相互評価活動をする。グループ協働作品の制作計画の作成及び準備をして、プレゼンテーション資料の制作を始める。【課題(復習・予習)]協働作品のテーマを確認し、スライド制作の準備をする。(2h)
14	プレゼンテーション資料の作成⑤ グループワークで協働作品の作成をすすめる。制作の進捗状況を交流し合いながら制作し完成することができる。【課題(復習・予習)]作成した作品をよりよいものにするために改善し、発表の準備をする。(2h)
15	全体のまとめ グループワークで作成したプレゼンテーション資料を発表する。学修して身につけた知識や技能についてまとめる。【課題(復習)]制作物の提出と学んだ内容を総合的に復習する。(1h)
時間外での学修	授業時間内にできなかった課題、練習問題等は次の時間までに仕上げておくようにしてください。復習をして、次の授業で遅れを出さないように心がけましょう。学内・自宅で空き時間を見つけて積極的にパソコンを使用し、技能をマスターしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間 2.5時間】
受講学生へのメッセージ	前期授業の「情報科学」における基礎的な操作を確実に復習するとともに、課題制作にあたっては、実社会に生かすことを想定して、自分なりの課題をもって取り組みましょう。オフィスアワーは授業後のパソコン教室で行います。

【9L5L203】教養・キャリア基礎演習Ⅰ(幼児教育学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	光井 恵子・垣添 忠厚・名和 孝浩・松村 齋・今村 民子・大橋 淳子・立崎 博則						
資格・制限等	特になし						
授業内容	短期大学での学びや社会人になるために必要な基礎的な知識、技能やコミュニケーション能力について多面的に学びます。また、将来保育者として必要とされる社会性や協調性についても学ぶとともに、社会的・職業的自立に向けて、自己認識と将来設計について考えます。						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。内容が変更になる場合は、事前に掲示板や学生ポータルでお知らせします。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を高める。			○		
	思考・判断・表現	専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。			○		
	技能	専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。			○		
	関心・意欲・態度	さまざまな課題に対して積極的に取り組む。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		15	15	15	15	60
	学修意欲・受講態度		5	5	5	5	20
	レポート		5	5	5	5	20
	合計(点)		25	25	25	25	100
評価の特記事項	学修記録ノートは、受講内容要約と考察の記入内容を評価します。 3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。						
I C T活用							
課題に対するフィードバック	学修記録の確認を行い授業内で共有します。						
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』日本語検定委員会編 東京書籍(972円)ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。						
参考書・教材	必要に応じて配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教養・キャリア基礎演習ガイダンス 自己理解について～自分の強みを見つけよう～ [課題]資料を基に、自己理解を深め自分の強みを見出して整理する(1～2h)						
2	基礎教養テスト：現時点での自分自身の基礎的な力を確認する。 [課題(復習)]テストの内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(1h)						
3	初年次教育Start Program(1)「初年次教育の概要説明」(総合教育センター)：初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学修に必要なスキルについて学ぶ。 [課題(予習)]課題として出された作文を書く(2～3h)						
4	初年次教育Start Program(2)「基礎ゼミ(1)」(全学科教員)：4学科の学生で構成された小グループで課題作文を用いて交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ。 [課題(復習)]学修した内容を復習する。(1～2h)						
5	情報セキュリティ講座(総合教育センター)・消費者生活講座(外部講師)：インターネット利用に関する注意点や消費者として生活を送る上での注意点についての講話を聞き、トラブルなく安全に過ごすための知識を身に付ける。 [課題(復習)]講話で聴いた内容について、自分自身でも調べてみる(1～2h)						
6	社会人基礎力：コミュニケーションスキルアップ～レクリエーションワーク～(日比千穂先生) [課題(復習)]他者とのコミュニケーションに大切な要素をまとめる。(1～2h)						
7	俳人松尾芭蕉：「奥の細道」の結びの地として、また水の都とも呼ばれる大垣の郷土や歴史を調べ、学外研修(郷土巡り)を通して、豊かな自然や歴史に触れる [課題]資料をまとめ、感想等をまとめる(1h)						
8	保育に生かす知識と技能Ⅰ：保育場面で使える知識や技能の体験を通して学修する [課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1h)						
9	保育に生かす知識と技能Ⅱ：保育場面で使える知識や技能の体験を通して学修する [課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1h)						
10	心と身体の健康について：健康診断の結果の見方の説明や生活管理に関するアドバイス(保健室)、UPI健康調査の結果説明、障がいの理解と支援、学生相談室の利用法(学生相談室) [課題(復習)]自らの心身の健康について振り返る(1～2h)						
11	デートDV講話(外部講師)：若者の間でも問題となっているデートDVの内容や実態、対応法などについて [課題(復習)]デートDVについて、自分自身でも調べてみる(1～2h)						
12	日本語検定準備学習(1)(総合教育センター)：入学前課題として取り組んだ日本語検定練習問題の振り返り 過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)]不正解であった箇所を確認し再度学習する(1～2h)						
13	保育に生かす知識と技能Ⅲ：エプロンシアターの演じ方や楽しさを知り、表現力を培う(松尾千景先生) [課題(復習)]授業を振り返り感想等をまとめる(1h)						
14	女性の健康と命の大切さ(岐阜協立大学看護学科戸村佳美)：女性特有の病気や健康上注意する点、事例を用いた説明など [課題(復習)]講話の内容を振り返り、出された課題に取り組む(2～3h)						
15	前期のまとめ：(1)日本語検定の振り返り(2)前期の学修の振り返り (3)自己の課題を確認し、今後に向けての取り組みについて考える [課題(復習)]授業を振り返り記録し、出された課題に取り組む(1～2h)						

時間外での学修	<p>毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関しての考察を記入してください。また、各回のテーマについて関心を持ち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めてください。分からない点は図書館等で調べ解決すること。</p> <p><b>【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】</b></p>
受講学生へのメッセージ	<p>授業内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修に臨んでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。</p> <p>オフィスアワーは、アカデミックアドバイザーの研究室へ来て相談してください。</p>

【9L5L203】教養・キャリア基礎演習Ⅰ(デザイン美術学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	田中 久志・黒田 皇・伊豫 治好・長久保 光弘・宮川 友子						
資格・制限等	特になし						
授業内容	短期大学での学び方を理解し、基礎的な学修技術を修得します。合わせて社会人となるために必要な基本的な教養や行動様式を学びます。さらに、美術表現を一層豊かに奥深くするための素養として、広範な世界を学びます。						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく確認し受講すること。グループワークなど、能動的な学び(アクティブラーニング)を前提とした方法も取り入れていきます。授業内容によっては、G Suiteなどによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出と、そのフィードバックなども双方で行います。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる			◎		
	思考・判断・表現	専門分野に基づく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる			○		
	技能	短期大学で必要となる基礎的な学びの技能が身についている			○		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組んでいる			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	記録ノート		40	-	-	10	50
	レポート		-	20	-	-	20
	グループワーク		-	-	20	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		40	20	20	20	100	
評価の特記事項	受講態度は主に記録ノートとレポート、グループワークで評価します。調査の内容、課題・レポート等で評価します。フィードバックとして各回で行った授業を、次回授業で確認し、コメントします。						
ICT活用	学生ポータルやメールでの質問を受け付け、返答します。						
課題に対するフィードバック	授業時間外課題の復習について、次回以後の授業でコメントします。						
テキスト	『『日本語検定公式練習問題集 ※※テキストは、受験する級による。』東京書籍』						
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教養・キャリア基礎演習Ⅰガイダンス：この授業で行われる、学内共通で学ぶ内容と、学科の専門性を踏まえた内容を知るとともに、目的について理解する。(学科) [課題(復習)]シラバスを読み、学修内容を把握する(1~2h)						
2	基礎教養テスト：現時点での自分自身の基礎的な力を確認する。 [課題(復習)]テストの内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(1h)						
3	初年次教育Start Program(1)「初年次教育の概要説明(総合教育センター)：初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学修に必要なスキルについて学ぶ。 [課題(予習)]課題として出された作文を書く(2~3h)						
4	初年次教育Start Program(2)「基礎ゼミ(1)」(全学科教員)：4学科の学生で構成された小グループで課題作文を用いて交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ。 [課題(復習)]学修した内容を復習する。(1~2h)						
5	情報セキュリティ講座(総合教育センター)・消費者生活講座(外部講師)：インターネット利用に関する注意点や消費者として生活を送る上での注意点についての講話を聞き、トラブルなく安全に過ごすための知識を身につける。 [課題(復習)]講話で聴いた内容について、自分自身でも調べてみる(1~2h)						
6	共同制作演習Ⅰ：(学科)みずき祭での学科の出し物について話し合うグループワーク。 [課題(予習・復習)]個人及びグループで今後に向けてアイデアを出す。(1~2h)						
7	専門的職業講話Ⅰ美術編：美術分野に於いて、社会で活躍している方の話を聞くことで、美術への関心を深める。(元岐阜県美術館館長 浅野裕司) [課題(復習)](1)美術分野について、学んだ内容を復習する。(2)レポートを書く。(1h)						
8	社会人基礎力Ⅰ：コミュニケーションスキルアップ~レクリエーションワーク~(大垣レクリエーション協会) [課題(復習)]学修内容を復習する。(2~3h)						
9	専門的職業講話Ⅱデザイン編：デザイン分野に於いて、社会で活躍している方の話を聞くことで、デザインへの理解を深める。(サンメッセ) [課題(復習)](1)デザイン分野について、学んだ内容を復習する。(2)レポートを書く。(1h)						
10	心と身体の健康について：健康診断の結果の見方の説明や生活管理に関するアドバイス(保健室)、UPI健康調査の結果説明、障がいの理解と支援、学生相談室の利用法(学生相談室) [課題(復習)]自らの心身の健康について振り返る(1~2h)						
11	デートDV講話(外部講師)：若者の間でも問題となっているデートDVの内容や実態、対応法などについて [課題(復習)]デートDVについて、自分自身でも調べてみる(1~2h)						
12	日本語検定準備学習(1)(総合教育センター)：入学前課題として取り組んだ日本語検定練習問題の振り返り 過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)]不正解であった箇所を確認し再度学習する(1~2h)						
13	専門的職業講話Ⅲサービスデザイン編：クックパッド。サービスデザイン分野に於いて、社会で活躍している方の話を聞くことで、サービスデザインへの理解を深める。(外部講師) [課題(復習)](1)サービスデザイン分野について、学んだ内容を復習する。(2)レポートを書く。(1h)						
14	女性の健康と命の大切さ(岐阜協立大学看護学科戸村佳美)：女性特有の病気や健康上注意する点、事例を用いた説明など [課題(復習)]講話の内容を振り返り、出された課題に取り組む(2~3h)						
15	将来設計 未来の姿を描く：自己の将来構想についてしっかりと考え、コース目標やねらい、専門科目の内容について理解し、コース選択について考える。 [課題(準備)]自己の将来を見据え、コース、科目を把握・理解する。(2~3h)						

時間外での学修	各回のテーマについて関心をもち、授業後は配付プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。【この科目で求める望ましい授業外での総学習時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配付する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。尚、オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。

【9L5L203】教養・キャリア基礎演習Ⅰ(音楽総合学科)		教養科目		1年前期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	服部 篤典・渡辺 博夫・菅田 文子・鈴木 孝育・横井 香織・松永 幸宏						
資格・制限等	特になし						
授業内容	短期大学での学び方、社会人になるための基礎的なコミュニケーションや社会生活の基本となる知識や技能および行動様式を身につけます。また、音楽表現に必要な教養や自己表現力をも学ぶとともに、職業的自立に向けて、自己のキャリアデザインを描きます。						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく掲示板等で確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。			○		
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。			◎		
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身につけている。			○		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		25	30	-	-	55
	受講態度		-	-	20	25	45
	合計(点)		25	30	20	25	100
評価の特記事項	学修記録ノートの記入状況と受講態度で総合的に評価します。						
ICT活用							
課題に対するフィードバック	それぞれの講義担当者による。						
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』日本語検定委員会編 東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による						
参考書・教材	授業内で指示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教養・キャリア基礎演習ガイダンス(2年間の短大生活の抱負) [課題(準備)]作文内容について準備する(1~2h)						
2	基礎教養テスト:現時点での自分自身の基礎的な力を確認する。 [課題(復習)]テストの内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(1h)						
3	初年次教育Start Program(1)「初年次教育の概要説明」(総合教育センター):初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学修に必要なスキルについて学ぶ。 [課題(予習)]課題として出された作文を書く(2~3h)						
4	初年次教育Start Program(2)「基礎ゼミ(1)」(全学科教員):4学科の学生で構成された小グループで課題作文を用いて交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ。 [課題(復習)]学修した内容を復習する。(1~2h)						
5	情報セキュリティ講座(総合教育センター)・消費者生活講座(外部講師):インターネット利用に関する注意点や消費者として生活を送る上での注意点についての講話を聞き、トラブルなく安全に過ごすための知識を身につける。 [課題(復習)]講話で聴いた内容について、自分自身でも調べてみる(1~2h)						
6	共同作業演習Ⅰ:コース別に分かれて取り組む。さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [課題(準備)]協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
7	社会人基礎力Ⅰ コミュニケーションスキルアップ ~レクリエーションワーク~(外部講師) [課題(復習)]コミュニケーション力の必要性を理解し、まとめる。(1~2h)						
8	個別面談(1) コース別に分かれてアカデミックアドバイザーと個別面談し、学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題(復習)]内容を振り返り、自己を見つめる機会とし、将来の進路について考える。(1~2h)						
9	個別面談(2) コース別に分かれてアカデミックアドバイザーと個別面談し、学校生活や進路に向けた話し合いを行う [課題(復習)]内容を振り返り、自己を見つめる機会とし、将来の進路について考える。(1~2h)						
10	心と身体の健康について:健康診断の結果の見方の説明や生活管理に関するアドバイス(保健室)、UPI健康調査の結果説明、障がいの理解と支援、学生相談室の利用法(学生相談室) [課題(復習)]自らの心身の健康について振り返る(1~2h)						
11	デートDV講話(外部講師):若者の間でも問題となっているデートDVの内容や実態、対応法などについて [課題(復習)]デートDVについて、自分自身でも調べてみる(1~2h)						
12	日本語検定準備学習(1)(総合教育センター):入学前課題として取り組んだ日本語検定練習問題の振り返り 過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)]不正解であった箇所を確認し再度学習する(1~2h)						
13	専門的職業講話Ⅰ:ピアノ、電子オルガン、音楽療法編(外部講師:専門職に従事している卒業生) [課題(復習)]卒業生の経験を振り返り、自己の人生設計に活かす(1~2h)						
14	女性の健康と命の大切さ(岐阜協立大学看護学科戸村佳美):女性特有の病気や健康上注意する点、事例を用いた説明など [課題(復習)]講話の内容を振り返り、出された課題に取り組む(2~3h)						
15	前期のまとめと後期の準備 [課題(復習)]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)						
時間外での学修	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、受講しての感想や内容に関する自らの考察を記入しますが、時間内に記入できなかった場合は次回までに記入し、担当教員まで提出してください。また、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めましょう。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:20時間]						



受講学生への  
メッセージ

授業の学修内容は、短期大学生として、また社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し、臨んでください。広範囲な講義、演習です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは各アカデミックアドバイザーの指示に従ってください。

【9L5L203】教養・キャリア基礎演習 I (歯科衛生学科)		教養科目		1年前期		
		1単位	必修	演習	30時間	
教員	今井 藍子・海原 康孝・加藤 智樹・久本 たき子・松川 千夏・水嶋 広美・飯岡 美幸・川畠 智子					
資格・制限等	特になし					
授業内容	本学の建学の精神と教育方針に沿った学修成果の達成に向けて、受講生が主体的に学び、幅広い視野を持ち知的基盤等を教養として身につけるようにします。その基礎となる短期大学での学び方や人間の理解を中心に、学問的知識・技能や思考方法、社会人となるための知識・行動様式などを学んでいくための基本的内容を総合的に理解することを目的とします。					
実務家教員						
授業方法	学生相互及び教員とのコミュニケーションを図りながら体験的に学修します。全学単位、学科単位など授業形態が異なります。講義形式、あるいは演習等のグループワーク、発表があります。					
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と、専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる			△	
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる			◎	
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身に付いている			△	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	学修記録ノート	-	30	-	-	30
	発表内容	10	-	-	-	10
	発表技術	-	-	10	-	10
	受講態度	-	-	-	50	50
	合計(点)	10	30	10	50	100
評価の特記事項	学修記録ノートの記録、発表(欠席した場合、レポート作成を課す)、受講態度(課題提出状況)で評価します。					
ICT活用						
課題に対するフィードバック	学修記録ノート等提出物において回収後、コメントします。					
テキスト	『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』日本語検定委員会編 東京書籍(972円) ISBN:978-4-487-80993-6 ※テキストは、受験する級による。					
参考書・教材	必要な資料は、配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	教養キャリア基礎演習ガイダンス：この授業で学ぶ内容と各学科の専門性を踏まえた目的について理解する。 [課題(復習)]シラバスを読み、学修内容を把握する(1~2h)					
2	基礎教養テスト：現時点での自分自身の基礎的な力を確認する。 [課題(復習)]テストの内容を振り返り、理解が不十分だったところを復習する(1h)					
3	初年次教育Start Program(1)「初年次教育の概要説明」(総合教育センター)：初年次教育の目的を理解し、短期大学における教育と学修に必要なスキルについて学ぶ。 [課題(予習)]課題として出された作文を書く(2~3h)					
4	初年次教育Start Program(2)「基礎ゼミ(1)」(全学科教員)：4学科の学生で構成された小グループで課題作文を用いて交流し、本学の教育の特徴や大学生活での時間管理の方法を学ぶ。 [課題(復習)]学修した内容を復習する。(1~2h)					
5	情報セキュリティ講座(総合教育センター)・消費者生活講座(外部講師)：インターネット利用に関する注意点や消費者として生活を送る上での注意点についての講話を聞き、トラブルなく安全に過ごすための知識を身に付ける。 [課題(復習)]講話で聴いた内容について、自分自身でも調べてみる(1~2h)					
6	日本の伝統文化に触れる：浴衣の着付け：浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ(外部講師) [課題(予習)]日本の文化と着物について調べ、記述する(2h)					
7	日本の伝統文化に触れる：浴衣の着付け：浴衣の着付けを通して日本文化について学ぶ(外部講師) [課題(予習)]日本の文化と着物について調べ、記述する(2h)					
8	社会人としてのマナー・服装編：社会人としてのスーツの着こなし方を学ぶ。(外部講師) [課題(復習)]学んだ内容を復習し、いつでも身だしなみが整えられるようにする。(1h)					
9	社会人基礎力I コミュニケーションスキルアップ ～レクリエーションワーク～(外部講師) [課題(復習)]コミュニケーション力の必要性を理解し、まとめる。(1~2h)					
10	心と身体の健康について：健康診断の結果の見方の説明や生活管理に関するアドバイス(保健室)、UPI健康調査の結果説明、障がいの理解と支援、学生相談室の利用法(学生相談室) [課題(復習)]自らの心身の健康について振り返る(1~2h)					
11	デートDV講話(外部講師)：若者の間でも問題となっているデートDVの内容や実態、対応法などについて [課題(復習)]デートDVについて、自分自身でも調べてみる(1~2h)					
12	日本語検定準備学習(1)(総合教育センター)：入学前課題として取り組んだ日本語検定練習問題の振り返り 過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)]不正解であった箇所を確認し再度学習する(1~2h)					
13	個別面談：2回目を実施した「教基礎教養テスト」の結果から、短期大学生としての自身を振り返り、今後の大学生活での課題を明確にする。 [課題(他)]学生生活の課題をまとめる(1h)					
14	女性の健康と命の大切さ(岐阜協立大学看護学科戸村佳美)：女性特有の病気や健康上注意する点、事例を用いた説明など [課題(復習)]講話の内容を振り返り、出された課題に取り組む(2~3h)					
15	学生発表：「自分の考える教養とは」をテーマに、受講して学んだことや教養に対する自分の考えをまとめ、決められた時間内で発表する。発表者としての身だしなみやマナーにも配慮する。 [課題(他)]到達目標に対する自己評価を行い、自分の考えを記述する(1h)					
時間外での学修	毎回、受講後に「学修記録ノート」へ受講内容や学んだことを明確に記録してください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					

受講学生への  
メッセージ

本科目は、多種多様な講義と演習の科目です。毎時間出席することにより、受講記録を行うことが大切です。担当教員より「学修記録ノート」提出の指示があった場合は、指示通りに提出してください。最終日に「学修記録ノート」を全員提出してもらい、評価をします。  
オフィスアワーは、各担当教員の時間になります。

【9L5L204】教養・キャリア基礎演習Ⅱ(幼児教育学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	光井 恵子・垣添 忠厚・名和 孝浩・松村 齋・今村 民子・大橋 淳子・立崎 博則						
資格・制限等	特になし						
授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど掲示板で事前によく確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	専門分野の学びや職業・就労についての基本的知識と理解を深める。			○		
	思考・判断・表現	専門分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を養う。			○		
	技能	専門分野の学びや社会人として必要なコミュニケーションやマナーについて学び、日常生活に生かす。			○		
	関心・意欲・態度	さまざまな課題に対して積極的に取り組む。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		15	15	15	15	60
	学修意欲・受講態度		5	5	5	5	20
	レポート		5	5	5	5	20
	合計(点)		25	25	25	25	100
評価の特記事項	ICT活用						
課題に対するフィードバック	学修記録の確認を行い授業内で共有します。						
テキスト							
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス：教養・キャリア基礎演習Ⅱについての説明と、今後の内容や活動について知る [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
2	共同作業体験演習Ⅰ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
3	共同作業体験演習Ⅱ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
4	キャリアプランについて(外部講師：名古屋大学船津先生) [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
5	社会人としてのマナー：メイク講座(外部講師) [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
6	日本語検定準備学習(2)(総合教育センター)：過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)]不正解であった箇所を確認し再度学習する(1~2h)						
7	日本語検定受験(11月12日(金) 12月22日(水)の補講として実施) [課題(復習)]解答できなかった箇所を確認し再度学習する(1~2h)						
8	専門的職業講話：社会で活躍している先輩の話聞き、職業人に対する憧れをもつ(外部講師) [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
9	自己分析(就職支援課) [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
10	保育園研究セミナー：保育園の先生方から保育現場の実際を学ぶ [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
11	保育職とは(公務員他)：保育職(公務員他)について考える(外部講師) [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
12	初年次教育Start Program(3)「基礎ゼミ(2)」(全学科教員)：一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ4学科の学生による小グループで交流を行う [課題(復習)]自分自身の一年間の学修を振り返る(1~2h)						
13	共同作業体験演習Ⅲ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
14	共同作業体験演習Ⅳ：さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める [課題(復習)]学修した内容を復習し、感想等をまとめる(1h)						
15	総括：後期の学修を振り返り、総括すると共に今後に向けての課題を明らかにする [課題(復習)]学修した内容を復習し、記録用紙にまとめる。(1h)						
時間外での学修	毎時、学修記録ノートに学んだ内容を要約し、感想や内容に関する考察を記入してください。また、各回のテーマについて関心をもち、関連内容や講義時に提示されたキーワードについて調べ、理解を深めること。分からない点は図書館等で調べ解決してください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】						
受講学生へのメッセージ	授業の学修内容は、短期大学生として、また、社会人として基本的に必要な知識や技能であることを認識し学修に臨んでください。広範囲な講義、演習、体験です。毎回欠席することなく受講してください。オフィスアワーは、アカデミックアドバイザーの研究室へ来て相談してください。						

【9L5L204】教養・キャリア基礎演習Ⅱ(デザイン美術学科)		教養科目		1年後期		
		1単位	必修	演習	30時間	
教員	田中 久志・黒田 皇・伊豫 治好・長久保 光弘・宮川 友子					
資格・制限等	特になし					
授業内容	前期で身に付けた基礎学修を応用していくとともに、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身に付けていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身に付け、考える力とコミュニケーション能力を養います					
実務家教員						
授業方法	多種多様な講義と演習の科目ですので、全学単位、学科単位、クラス単位など授業形態が毎時異なります。事前に授業会場、準備するものなど、掲示等をよく確認しておいてください。グループワークなど、能動的な学び(アクティブラーニング)を前提とした方法も取り入れていきます。授業内容によっては、G Suiteなどによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出と、そのフィードバックなども双方向で行います。					
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。			◎	
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力が付いている。			○	
	技能	自己の将来を実現していくために必要な基本的技能が身につけている。			○	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想実現に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	学修記録ノート	40	-	-	10	50
	レポート	-	20	-	-	20
	グループワーク	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	40	20	20	20	100
評価の特記事項	受講態度は主に記録ノートとレポート、グループワークで評価します。調査の内容、課題・レポート等で評価します。フィードバックとして各回で行った授業を、次回授業で確認し、コメントします。					
ICT活用	学生ポータルやメールでの質問を受け付け、返答します。					
課題に対するフィードバック	授業時間外課題の復習について、次回以後の授業でコメントします。					
テキスト						
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	教養キャリアⅡガイダンス：授業の進み方を把握し、キャリア教育の概念を理解する(学科) [課題(復習)]講座の目的、目標をまとめる(1h)					
2	共同制作演習Ⅱ：クラスごとに、みずき祭クラス企画の内容と、運営する方法を設計する(学科) [課題(復習)]企画立案、運営の方法などを理解し、まとめる(2h~3h)					
3	共同制作演習Ⅲ：みずき祭で発表する共同作品のスムーズな制作のため、全員で協力し話し合い、目的を達成する(学科) [課題(復習)]協力することの必要性を理解し、まとめる(2h~3h)					
4	キャリアプランについて：(名古屋大学 船津先生) [課題(復習)]キャリアプランを立てる意義について理解し、まとめる(1h~2h)					
5	社会人としてのマナーⅠメイク編：社会人としてふさわしい身だしなみの一環としてのメイク法を知る。(スマイルaska) [課題(復習)]メイク法について振り返り、まとめる。(1h~2h)					
6	日本語検定準備学習(2)(総合教育センター)：過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)]不正解であった箇所を確認し再度学習する(1~2h)					
7	日本語検定受験(11月12日(金) 12月22日(水)の補講として実施) [課題(復習)]解答できなかった箇所を確認し再度学習する(1~2h)					
8	社会人としてのマナーⅡ服装編：社会人として適切な服装と、着こなしのポイントを知り将来に備える(外部講師) [課題(復習)]社会人らしい服装について理解し、まとめる(1h)					
9	個人面接：(学科) 専門的職業演習Ⅱ情報デザイン編②：オリジナルスマートフォンアプリ制作、完成(外部講師) [課題(復習)]制作したアプリについて、まとめる(1h)					
10	アジアグラフ準備：1月に行われるアジアグラフについて、内容を把握し、備える。 [課題(予習・復習)]内容の理解、準備。(1~2h)					
11	専門的職業講話Ⅳ：マンガ編集という仕事を知ること、社会理解の一助とする。またマンガを描く者は、自身の作品を見つめる糧とする。(マンガ編集者) [課題(復習)]講話について振り返り、まとめる。(2h~3h)					
12	初年次教育Start Program(3)「基礎ゼミ(2)」(全学科教員)：一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ4学科の学生による小グループで交流を行う [課題(復習)]自分自身の一年間の学修を振り返る(1~2h)					
13	就職活動準備講座Ⅰ：履歴書作成(就職支援課) [課題(復習)]自身の就職活動に生かせるよう、復習し、まとめる。(2h~3h)					
14	将来に向かっての選択Ⅰ：1年次の学びの振り返りと、自立するためのライフプランを念頭に、今後を考える(1)(学科) [課題(復習・準備)]目標を設定する(2h~3h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
15	将来に向かっての選択Ⅱ：1年次の学びの振り返りと、自立するためのライフプランを念頭に、今後を考える(2) (学科) [課題(復習・準備)]目標を設定し、まとめる(1h)
時間外での学修	各回のテーマについてしっかり関心をもち、授業後は配付プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても解決できない場合は、各担当教員に相談してください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配付する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容と感想を記録してください。 尚、オフィスアワーは各チューターの指示に従ってください。

【9L5L204】教養・キャリア基礎演習Ⅱ(音楽総合学科)		教養科目		1年後期			
		1単位	必修	演習	30時間		
教員	服部 篤典・渡辺 博夫・菅田 文子・鈴木 孝育・横井 香織・松永 幸宏						
資格・制限等	特になし						
授業内容	社会人になるための基本的な知識や技能、一般常識を学び、職業人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。全学科共通の授業や少ない人数のゼミ形式など、様々なかたちでの振る舞い方、対人関係を深めるコミュニケーションについても授業で学びます。						
実務家教員							
授業方法	内容により、講義形式または演習形式で行います。また、授業形態も全学単位・学科単位・クラス単位など毎時異なります。授業会場・準備するものなど事前によく掲示板等で確認し受講してください。						
到達目標	知識・理解	自己の適性や能力と専門分野の学びの基盤となる教養の知識を理解できる。			○		
	思考・判断・表現	専門分野にもとづく自己の将来構想について、おおよその見通しが持てる。			◎		
	技能	短期大学で必要となる基本的な学びの技能が身についている。			○		
	関心・意欲・態度	自己の将来構想についてしっかりと考えながら意欲的に授業に取り組める。			○		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	学修記録ノート		25	30	-	-	55
	受講態度		-	-	20	25	45
	合計(点)		25	30	20	25	100
評価の特記事項	学修記録ノートの記入状況と受講態度で総合的に評価します。						
I C T活用							
課題に対するフィードバック	それぞれの講義担当者による。						
テキスト	なし						
参考書・教材	資料等は授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教養・キャリア基礎演習Ⅱガイダンス 専門的職業講話Ⅱ(外部講師: 本学卒業生 ウインドアンサンブルコース、管打楽器リペアコース卒) [課題(復習・発展)] 後期全体の学修内容を確認し、次の時間に向けて準備を行う。卒業生の経験を振り返り、自己の人生設計に活かす(2h~3h)						
2	共同作業演習Ⅱ: コース別に分かれて取り組む。さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [課題(準備)] 協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
3	共同作業演習Ⅲ: コース別に分かれて取り組む。さまざまな人と目標に向けて協力し、コミュニケーション能力を高める。 [課題(準備)] 協力して作業を遂行するとともに、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
4	キャリアプランについて(オンライン) [名古屋大学 船津先生] [課題(復習・発展)] キャリアプランについて理解を深め、自己のライフプランを設計する。(1h~2h)						
5	自己分析Ⅰ(外部講師) [課題(復習・準備)] 自己についての情報を収集し、自己理解を図るとともに、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
6	日本語検定準備学習(2)(総合教育センター): 過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)] 不正解であった箇所を確認し再度学習する(1~2h)						
7	日本語検定受験(11月12日(金) 12月22日(水)の補講として実施) [課題(復習)] 解答できなかった箇所を確認し再度学習する(1~2h)						
8	自己分析Ⅱ(外部講師) [課題(復習・準備)] 自己理解とともに他者に対する理解を自覚し、次の時間に向けて準備を行う(1h~2h)						
9	社会人としてのマナーⅠ 服装編(外部講師) [課題(復習)] 社会人マナーとしての着こなし方や所作を確認する(1h~2h)						
10	社会人としてのマナーⅡ メイク編(外部講師) [課題(復習)] 社会人マナーとしてのメイクの仕方や所作を確認する(1h~2h)						
11	就職活動準備講座Ⅰ 履歴書作成・ライフプラン(就職支援課) [課題(復習・発展)] 履歴書の書き方を確認し、自己のライフプランを設計する(1h~2h)						
12	初年次教育Start Program(3)「基礎ゼミ(2)」(全学科教員): 一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ4学科の学生による小グループで交流を行う [課題(復習)] 自分自身の一年間の学修を振り返る(1~2h)						
13	社会人基礎力Ⅱ 話し方他(外部講師) [課題(復習)] 社会人基礎力として学んだ話し方、接遇の仕方を振り返り、確認する(1h~2h)						
14	就職活動準備講座Ⅱ 面接練習(外部講師) [課題(復習・定着)] 学んだ面接の具体的な内容を振り返り、繰り返し練習する(1h~2h)						
15	教養・キャリア基礎演習Ⅰ・Ⅱ総括 反省と今後に向けて [課題(復習)] 1年間全体を通して振り返り、学んだ内容をまとめる(1h~2h)						
時間外での学修	各回のテーマについて関心を持ち、授業後は配布プリント等を復習し理解を深めてください。分からない点、疑問点は図書館等で調べ解決してください。自分で調べても解決できない場合は、各アカデミック・アドバイザーに質問する事。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間: 20時間】						
受講学生へのメッセージ	自ら積極的に学ぶとする意識をしっかりと持って受講してください。事前に配布する「教養・キャリア基礎演習Ⅱ学修記録ノート」を毎回持参し、受講後、講義内容・学び・自己評価を記入してください。オフィスアワーは、各アカデミック・アドバイザーの指示に従ってください。						

【9L5L204】教養・キャリア基礎演習Ⅱ(歯科衛生学科)		教養科目		1年後期		
		1単位	必修	演習	30時間	
教員	水嶋 広美・小原 勝・海原 康孝・加藤 智樹・久本 たき子・松川 千夏・飯岡 美幸・今井 藍子・					
資格・制限等	特になし					
授業内容	社会人として自立していくための基本的な知識や技能、一般常識を学び、社会人に求められる望ましい就業観・勤労観を身につけていきます。また、社会性と協調性の基本となる行動様式を身につけ、考える力とコミュニケーション能力を養います。					
実務家教員						
授業方法	全学単位、学科単位、クラス単位での多種多様な講義と演習の科目です。集団活動や外部講師、授業内容によっては、G Suiteなどを活用した遠隔授業も行います。小グループでの討論、検討などの授業形態が毎時異なった授業を展開していきます。毎回授業ごとに、学修記録を作成します。最後の授業では、今までの振り返りとして「発表」を行います。質問等についてはメールでも受け付けます。					
到達目標	知識・理解	専門分野の学びとともに社会人に求められる知識についても理解できる。			△	
	思考・判断・表現	社会人になるために必要な基礎的な思考・判断・表現の力がついている。			△	
	技能	自己の将来構想を実現していくために必要な基本的技能が身についている。			◎	
	関心・意欲・態度	自己の将来構想に向けて、課題意識を持って意欲的に授業に取り組める。			◎	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	受講態度	5	-	-	35	40
	学修記録ノートの記述	-	-	30	20	50
	発表	5	-	-	-	5
	レポート作成	-	5	-	-	5
	合計(点)	10	5	30	55	100
評価の特記事項	学修記録ノートは、受講内容要約と考察の記入内容を評価します。 日本語能力検定の結果も授業態度に含めます。 第15回教養・キャリア基礎演習Ⅱのまとめを欠席した場合は、発表に準じた課題があります。 全授業の1/3以上欠席の場合、単位を与えません。					
ICT活用						
課題に対するフィードバック	授業時間外課題は、次回以降の授業でAcademic advisorからコメントします。					
テキスト	『『日本語検定公式練習問題集 3訂版 3級』※テキストは、受験する級による。』日本語検定委員会編 東京書籍(972円)ISBN:978-4-487-80993-6 なし					
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス：教養・キャリア基礎演習Ⅱについての説明と、今後の内容や活動について話し合う [課題(復習)]社会人に求められる望ましい就業観・勤労観について考える(1h)					
2	共同作業体験Ⅰ：みずき祭について各クラスに分かれ、ディスカッションする [課題(復習)]クラスの企画について、まとめる(1h)					
3	共同作業体験Ⅱ：みずき祭について各クラスに分かれ準備する [課題(復習)]クラス企画に必要な準備物を、まとめる(1h)					
4	キャリアプランについて：自分の将来のための、個々自らキャリアライフについて考える(外部講師) [課題(復習)]個々自らキャリアライフについて考えまとめる(1h)					
5	日本語検定準備学習(2)(総合教育センター)：過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)]不正解であった箇所を確認し再度学習する(1~2h)					
6	日本語検定準備学習(3)(総合教育センター)：過去問への取り組みと採点・解説 [課題(復習)]不正解であった箇所を確認し再度学習する(1~2h)					
7	日本語検定受験(11月12日(金) 12月22日(水)の補講として実施) [課題(復習)]解答できなかった箇所を確認し再度学習する(1~2h)					
8	自己分析：自分自身を分析し客観視することで、将来のことを考えてみる。 [課題(復習)]自分自身の将来について考えまとめる。(1h)					
9	女性の生き方について考える： 女子短大生としての3年間の過ごし方と卒業後の生き方について考える(学科長) [課題(復習)]短大在学期間と卒業後の女性としての生き方について、レポートにまとめる(1h)					
10	歯科医療における地域貢献：歯科衛生士として歯科医療における地域貢献について学ぶ(大垣歯科医師会) [課題(復習)]地域貢献について歯科衛生士の役割を復習し、考えたことを記述する(1h)					
11	社会人基礎力Ⅱ：社会人としてのコミュニケーション・挨拶等、話し方を学ぶ(外部講師) [課題(復習)]社会人基礎力として学んだ挨拶の仕方を振り返り、確認する(1h~2h)					
12	初年次教育Start Program(3)「基礎ゼミ(2)」(全学科教員)：一年間の学びへの取組状況を振り返り、前期と同じ4学科の学生による小グループで交流を行う [課題(復習)]自分自身の一年間の学修を振り返る(1~2h)					
13	社会人としてのマナー：メイク編 清潔感のあるより良い第一印象を与えるためのメイクの技術を学ぶ [課題(復習)]社会人としての身だしなみについて、振り返る(1h)					
14	個別面談：これまでの学生生活や学修の様子を振り返り、自分の課題と今後の進路について考える [課題(復習)]自己の課題や進路希望について、まとめる(1h)					
15	教養・キャリア基礎演習Ⅱまとめ：今後に向けて、14回の内容についての学びをまとめ、発表する 今までの学修成果(課題)を参考にしながら、自分なりの意見をまとめる。 [課題(復習・他)]発表で不十分だったところを反省し、学修記録ノートに記述しまとめる(1h)					
時間外での学修	各回のテーマについて関心を持ち、授業後は配付プリント等を復習し理解を深めてください。わからない点、疑問点は図書館等で調べ解決をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、各担当教員に質問してください。【この科目でもとめる望ましい授業外での総学修時間：15時間】					



受講学生への  
メッセージ

自ら積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。事前に配付する「学修記録ノート」を毎回持参し、受講後講義内容と感想を記録してください。  
オフィスアワー：スタッフルーム（G202：G号館2F）各担当教員の時間になります。

【9L5L205】社会活動演習(幼児教育学科)		教養科目		1～3年通年			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	松村 齋						
資格・制限等	特になし						
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動(こども祭、みずき祭、アクアウォークなど)や、本学の環境整備活動、保育関係の学会・研修会、シンポジウムなどに参加活動し、振り返りをおこなう。情報機器を活用して資料を読み取り、客観的な視点を養う。主体的・対話的で深い学びを促進する状態での学修活動を積極的に行い、ICTを活用した双方向型授業や自主学習支援なども必要に応じて実施する。						
実務家教員	学校教員20年						
授業方法	活動参加及び振り返りの実施						
到達目標	知識・理解	社会の課題に気づき、適切に判断・行動することができる。			○		
	思考・判断・表現	学びの集積を自覚し、統合し活用することができる。			○		
	技能	さまざまな価値観に対応できる柔軟性を身につける。			○		
	関心・意欲・態度	社会に貢献する自明観と責任感をもって、積極的に行動することができる。			◎		
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	提出物(ポートフォリオ)		20	20	20	40	100
	合計(点)		20	20	20	40	100
評価の特記事項	ポートフォリオの提出(100%)で評価する。 3年間で、(1)行事参加、(2)環境整備活動、(3)学会・研修会・シンポジウムへの参加等をおこない、ポートフォリオを提出する。						
ICT活用							
課題に対するフィードバック	活動後のレポート及び振り返りにより、個別に返答、もしくは全体の場でのフィードバックを行なう。						
テキスト	なし						
参考書・教材	特に指定はしませんが、学会などの催し、研究会などは案内します。 日頃から、教育・政治・経済など社会情勢などを知るための印刷物(新聞、関連誌)を身近な教材にしてください。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
15	<p>方法：課題レポートの提出(100%)で評価する。</p> <p>それぞれの活動を  (1)行事参加  (2)環境整備活動  (3)学会・研修会、シンポジウムなどへの参加  の3分野に分類し、討論、発表を通じて問題解決型の学修を目指す。  3年間で  (1)行事参加は30h以上(時間外活動)  (2)環境整備活動は30回以上  (3)学会・研修会・シンポジウムなどへの参加は3回以上  を総合的にまとめた課題レポート(1つの行事につき所要時間1h程度)を提出する。</p>						
時間外での学修	社会活動演習の種類によって、事前準備・学修が必要になってきます。 詳細については担当教員より連絡があります。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】						
受講学生へのメッセージ	社会活動に積極的に参加することによって、大学で学ぶ知識や技術を統合し、主体的・協同的な姿を備えた保育者になることを目的としています。 オフィスアワーは各教員の時間帯を参照。そのほか、必要な時にアカデミックアドバイザーに相談してください。						

【9L5L205】社会活動演習(デザイン美術学科)		教養科目		1～2年通年		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	田中 久志					
資格・制限等	特になし					
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、デザイン・美術関係の学会・研修会に参加・活動し、社会活動演習ノートを作成する。					
実務家教員						
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。グループワークなど、能動的な学び(アクティブラーニング)を前提とした方法も取り入れていきます。授業内容によっては、ZOOMによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出と、そのフィードバックなども双方向で行います。					
到達目標	知識・理解	社会の一員としての知識、社会的活動の意義を理解できる。			◎	
	思考・判断・表現	社会の一員として、ボランティア活動に必要な考えを持ち、行動することができる。			○	
	技能	身に付けた技能を社会のために活かすことができる。			○	
	関心・意欲・態度	探究心を持ち、自ら他者の手助けをする意思を持ち、行動することができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	社会活動	30	20	25	-	75
	社会活動記録ノート	-	-	-	25	25
	合計(点)	30	20	25	25	100
評価の特記事項	社会活動記録ノートは必須です。フィードバックとして社会活動記録ノートについて確認し、コメントします。					
ICT活用	学生ポータルやメールでの質問を受け付け、返答します。					
課題に対するフィードバック	担当教員が当該社会活動について学生に聞き取りをし、内容にコメントします。					
テキスト						
参考書・教材	なし					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	<p>2年間において、下記のいずれかの社会活動に15回相当以上参加し、そのレポートを提出することで単位を認定します。</p> <p>&lt;社会活動の内容&gt; (30h)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学もしくは学科の主催・共催・協賛等により、各種団体と行う展示や活動への参加</li> <li>2. 県や市町村等の主催する社会的活動への参加</li> <li>3. 各種団体主催のボランティア活動への参加</li> <li>4. 地域や学内で行われる行事や活動への参加</li> <li>5. 小・中・高等学校等での指導や補助</li> <li>6. 自主的な清掃活動</li> <li>7. その他教員が推奨する社会的活動等</li> </ol> <p>&lt;報告書の提出&gt; (15h)</p> <p>社会活動後、3週間以内に社会活動記録ノートをチューターに提出してください。  * 上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にチューターを通して確認してください。</p>					
時間外での学修	<p>学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。また、社会活動記録ノート提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。</p> <p>【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】</p>					
受講学生へのメッセージ	<p>社会活動やボランティア等の意義を理解し、積極的に参加してください。  オフィスアワーは、各学年のクラスチューターの時間になります。</p>					

【9L5L205】社会活動演習(音楽総合学科)		教養科目		1～2年通年		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	服部 篤典					
資格・制限等	特になし					
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動やボランティア活動に参加する他、学校関係、イベントなどでの演奏に参加しレポートを作成する。					
実務家教員						
授業方法	活動に参加し、内容などのレポートを作成する。					
到達目標	知識・理解	ボランティア活動の意義を理解し参加できる。○			◎	
	技能	専門分野において身につけた技能を発揮し活動することができる。○			◎	
	関心・意欲・態度	地域のイベント、小学校、高齢者施設などで、専門分野を活かした活動ができる。◎			◎	
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	提出レポート	30	-	-	-	30
	社会活動	-	-	30	40	70
	合計(点)	30	-	30	40	100
評価の特記事項						
ICT活用						
課題に対するフィードバック	レポートにコメントを返します。					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
	2年間において下記活動などに10回以上参加し(1回2h)、そのレポートを提出する(1回1h)。 社会活動内容 ・各種団体主催のイベント、保育施設、学校関係などでの公演、指導 ・児童施設、高齢者施設などでのボランティア活動 ・地域行事への参加 etc.					
時間外での学修	参加前に必ず活動内容を把握してください。 【この科目で求める望ましい授業時間外での総学修時間：30～45時間】					
受講学生へのメッセージ	レポートは必ず提出してください。 オフィスアワーは各アカデミックアドバイザーの指定時間、場所になります。					

【9L5L205】社会活動演習(歯科衛生学科)		教養科目		1～3年通年		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	小原 勝					
資格・制限等	特になし					
授業内容	短大及び地域で行われる社会活動や、本学が認める地域でのボランティア活動、歯科医学関係の学会・研修会、地域保健活動に参加・活動し、社会活動演習日誌を作成する。					
実務家教員						
授業方法	学内・学外での活動に参加し、その内容について指定された用紙に記載していきます。					
到達目標	知識・理解	社会人に求められる社会変化への対応や地域への貢献などに必要な知識を身につけることができる。			◎	
	技能	社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能についてその基礎を身につけることができる。			◎	
	関心・意欲・態度	学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む事ができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達指標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	社会活動演習日誌内容	42	-	42	-	84
	社会活動演習日誌提出状況	-	-	-	16	16
	合計(点)	42	-	42	16	100
評価の特記事項	社会活動演習日誌内容の84%は *7点(1回)×12回(A:7点 B:6点 C:5点)で評価します。実施日より3週間以上経過して日誌を提出した場合には減点します。					
ICT活用						
課題に対するフィードバック	提出後に、アカデミック・アドバイザーが内容をチェックしコメントします。					
テキスト	なし					
参考書・教材	なし					
内容						
実施回	授業内容・目標					
	<p>歯科衛生学科3年間で、(1)学内活動 (2)学外活動の2分野において社会活動演習を行います。 ※活動合計時間数が30h以上になること</p> <p>(1)学内活動・・・3年間で7回以上参加 (内容によって参加学年・人数を限定することがあります。) 該当行事：FSC(ファーストステップキャンパス) みずき祭(前夜祭と本番で1回) 研修旅行(2年生) オープンキャンパスサポーター その他(その他の行事予定はその都度、掲示などで連絡します。)</p> <p>(2)学外活動・・・3年間で5回以上参加(内容によって参加学年・人数を限定することがあります。) 該当行事：十万石まつりなどの地域で開催されている行事へのボランティア活動 その他のボランティア活動(歯科衛生学科長が認めたもの) 該当研修会・学会：日本歯科衛生士会・岐阜県歯科衛生士会主催の学会・研修会 日本歯科医師会・岐阜県歯科医師会主催の学会・研修会 教員が推奨する各種学会・研修会 ※学会等の予定はその都度掲示などで連絡します。 ※上記以外の活動に参加する場合は、社会活動演習として認められるか、事前にアカデミック・アドバイザーを通して確認してください。</p> <p>注意事項：[課題(他)] ①上記活動に参加後、3週間以内に社会活動演習日誌をアカデミック・アドバイザーへ提出してください。作成時間数：1回の活動につき1h以上) ※原則、日誌は実施後から1か月以内の提出とします。 ※実施日より3週間を経過して日誌を提出した場合には減点対象となります。 ②日誌提出後、所定欄にアカデミック・アドバイザーより検印をもらって社会活動として認定されます。</p>					
時間外での学修	学外活動に参加する場合は、学内の掲示板や地域の情報誌などを活用して情報収集をしましょう。また、日誌提出の期日が過ぎるとその活動が無効になり、評価できません。提出期限を守りましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					
受講学生へのメッセージ	地域に貢献できるような活動への参加を期待します。主体的に取り組んでください。オフィスアワーは、各学年のアカデミック・アドバイザーの指定する時間になります。					

【9L5L206】基礎教養特講		教養科目		1～3年通年		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	茂木 七香・猿井 久美子・小椋 博文					
資格・制限等	特になし					
授業内容	この授業では、社会人として必要となる基礎的・汎用的能力や論理的思考力・創造力の基盤となる知識について、中等教育までに学修した内容の定着や深化を図り、一般的な社会常識なども含めて学びます。教養科目や専門科目を学ぶ際に必要となる基礎的知識や、短大卒業後に社会人として求められる一般的な教養や知識などを身に着けます。					
実務家教員						
授業方法	自宅での事前学習を前提とし、授業では予め学修した内容の確認問題への取り組みと解説を行い、学修内容の定着を図ります。さらに発展的内容の学修のための実践問題に取り組みその解説を行う、という流れで授業を展開します。各自が予習や復習にしっかりと取り組んだ上で臨んでください。この授業では、SA（スチューデント・アシスタント）の学生が学修のサポートにあたります。					
到達目標	知識・理解	専門分野を学ぶ基礎となるとともに社会人に教養として求められる知識を身につける。			◎	
	思考・判断・表現	社会人に求められる資質としての思考力や判断力を身につける。			○	
	技能	社会人に求められる資質の1つとして、知的操作や知的技法の基礎を身につける。			○	
	関心・意欲・態度	自己の目標や状況に応じて、意欲を持って主体的に学修に取り組むことができる。			○	
	備考	◎・○・△の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	試験	30	10	-	-	40
	学修記録	10	10	5	5	30
	学修成果の自己評価	-	5	5	5	15
	受講態度(学修・提出等の状況)	-	-	5	10	15
	合計(点)	40	25	15	20	100
評価の特記事項	在学期間中に前期・後期合わせて合計15回以上受講し、かつ、学期末の試験を受けて合格することで、単位が取得できます。					
I C T活用						
課題に対するフィードバック	自宅で学修してきた内容について、毎回必ず確認テストを実施し、学修内容の定着を目指します。					
テキスト	『就活力アップシリーズ 一般常識チェック&マスター 短大生・専門学校生の就職筆記試験対策 改訂版』山野晴雄・河西章夫 他 実教出版(926円)ISBN:978-4-407-32160-9					
参考書・教材	授業で指示します。その他必要な資料は配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	【前・後期】オリエンテーション(社会で必要な教養、学修の進め方や教材、基礎確認テスト、他) [課題(復習)]基礎確認テストの復習 [課題(予習)]次時内容の予習(1～2h)					
2	【前期】世界史・思想文化史と難読漢字の定着と発展 【後期】地理1・漢字1の定着と発展 [課題(復習)]学んだ内容(前期:世界史・思想史、後期:地理、通年:漢字)の復習 [課題(予習)]次時内容の予習(1～2h)					
3	【前期】方程式・同音異義語の定着と発展 【後期】式の計算1・漢字2の定着と発展 [課題(復習)]学んだ内容(前期:方程式・同音異義語、後期:式の計算・漢字)の復習 [課題(予習)]次時内容の予習(1～2h)					
4	【前期】政治と憲法・同訓意義語の定着と発展 【後期】地理2・漢字3の定着と発展 [課題(復習)]学んだ内容(前期:政治と憲法・同訓意義語、後期:地理・漢字)の復習 [課題(予習)]次時内容の予習(1h)					
5	【前期】文章題1・同義語と対義語の定着と発展 【後期】式の計算2・漢字4の定着と発展 [課題(復習)]学んだ内容(前期:文章題・同義語と対義語、後期:式の計算・漢字)の復習 [課題(予習)]次時内容の予習(1～2h)					
6	【前期】経済と福祉・ことわざと故事成語の定着と発展 【後期】日本史1・漢字5の定着と発展 [課題(復習)]学んだ内容(前期:経済と福祉・ことわざと故事成語、後期:日本史・漢字)の復習 [課題(予習)]次時内容の予習(1～2h)					
7	【前期】文章題2・四字熟語1の定着と発展 【後期】文字式・漢字6の定着と発展 [課題(復習)]学んだ内容(前期:文章題・四字熟語、後期:文字式・漢字)の復習 [課題(予習)]次時内容の予習(1～2h)					
8	【前期】社会生活・四字熟語2の定着と発展 【後期】日本史2・漢字7の定着と発展 [課題(復習)]学んだ内容(前:社会生活・四字熟語、後期:日本史・漢字)の復習 [課題(予習)]次時内容の予習(1～2h)					
9	【前期】図形・慣用表現と敬語表現の定着と発展 【後期】式の展開と因数分解・同字異読語の定着と発展 [課題(復習)]学んだ内容(前期:図形・慣用表現と敬語表現、後期:式の展開と因数分解・同字異読語)の復習、これまで学んだ内容全体の復習(2～3h)					
10	【前・後期】まとめ(第1回～9回までの学修の確認と定着) [課題(復習)]これまでに学んだ内容の総合的な復習(2～4h)					
時間外での学修	[課題(予習)][課題(復習)]として示した内容、( )の標準学修時間をめどとして確実に取り組みましょう。教科書以外の問題集なども使い、各自で学修を進めてください。【この科目で求める望ましい時間外での総学修時間:30時間】					
受講学生へのメッセージ	授業内容は後期に開始し次年度前期で完結いつからでも受講可能ですが、学修内容の理解と定着のためできるだけ連続して参加しましょう。単位取得を希望せず自主学習のペース作りとしての参加もできます。開講時期・回数は、前期:5月19日(水)～7月21日(水)の10回、後期:9月29日(水)～12月8日(水)の10回。オフィスアワー:毎週木曜日11時～12時(A306)。					